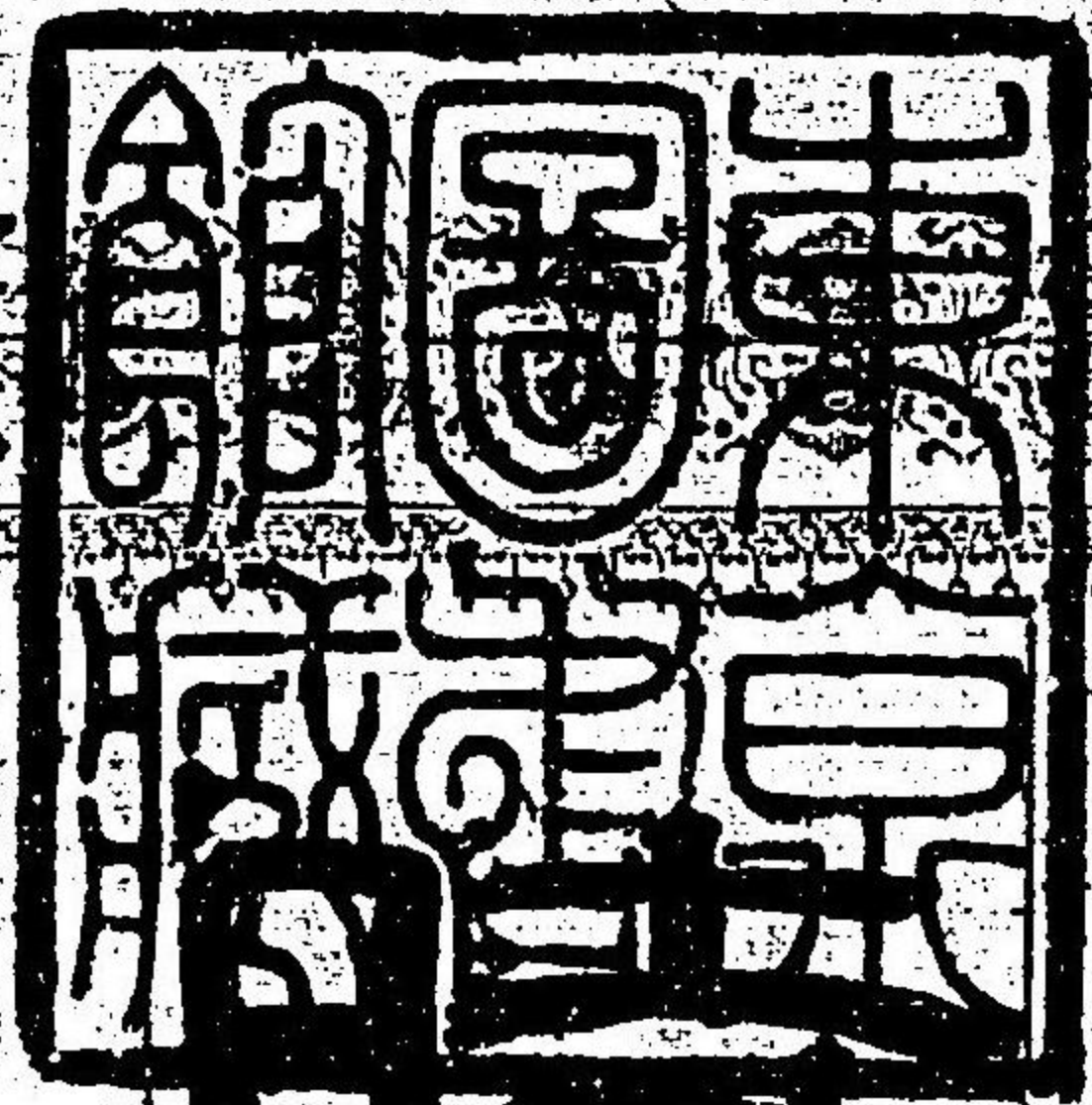


明治二十年二月七日

2690

明治十七年七月



時經課

正教會



聖
書
卷
五

正
卷
五

聖書卷五

當祈禱時不論
何求信其可得
則必得之矣

馬可第十一章

我欲入拱聖手
 無怨寐疑隨在
 祈禱提摩太前書第二章
 半額聞書

時課經目錄

平日夜半課	七葉
「スボタ」夜半課	卅五葉
主日夜半課	四十三葉
早課	四十九葉
第一時課	九十三葉
第三時課	百七葉
第六時課	百廿三葉
聖體禮儀代式	百卅七葉

第九時課

百五十九葉

晚課

百七十五葉

晚堂大課

二百一葉

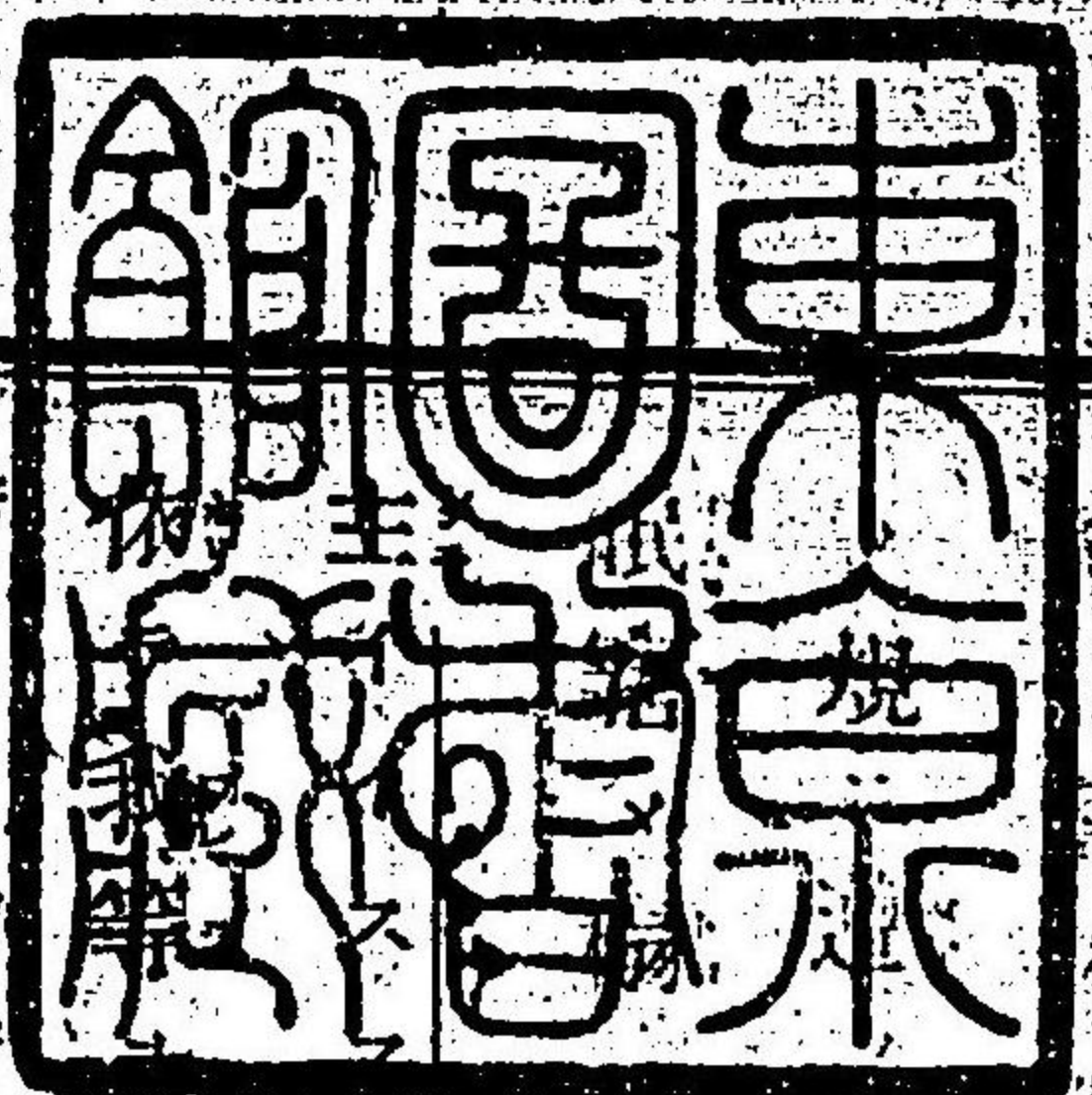
晚堂小課

二百六十三葉

八調經抄

二百八十五葉

時課經



經中載スル所ノ禮儀ハイエルツリムノ尊貴ナル聖修道院

リ起キテ誦スベシ

ハリストス我等ノ神ヤ吾ガ諸聖神父ノ祈禱ニ
憐メヨ「アミン」

聖ナル神聖ナル勇毅聖ナル常生ノ者ヤ我等ヲ憐メヨ
光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス今モ何時モ世々ニ「アミン」
至聖三者ヤ我等ヲ憐メヨ主ヤ我等ノ罪ヲ深クセヨ主宰ヤ

我等ノ愆ヲ赦ルセ聖ナル者ヤ臨テ我等ノ病ヲ癒シ給ヘ悉ク爾ノ名ニ因ル

主憐メヨ三

光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス今モ何時モ世々ニ「アミン」

天ニ在ス我等ノ父ヤ願ハ爾ノ名ハ聖トセラレ爾ノ國ハ來

リ爾ノ旨ハ天ニ行ハル、ガ如ク地ニモ行ハレン我ガ日用

ノ糧ヲ今日我等ニ與ヘ給ヘ我等ニ債アル者ヲ我等免スガ

如ク我等ノ債ヲ免シ給ヘ我等ヲ誘ニ導カズ猶我等ヲ凶惡

ヨリ救ヒ給ヘ

蓋國ト權能ト光榮ハ爾ニ世々ニ歸ス「アミン」

讚詞 第一ノ調

至善者ヤ我等寤興キテ爾ニ伏拜ス全能者ヤ神使ノ歌ヲ以テ爾ニ呼ブ聖々々ナル哉神ヤ生神女ニ因テ我等ヲ憐メヨ
光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス

主ヤ爾ハ我ヲ覺シテ榻ヨリ起セリ我ガ智慧ト心ヲ照シ我ガ口ヲ開キ爾聖三者ヲ讚歌ハセ給ヘ聖々々ナル哉神ヤ生神女ニ因テ我等ヲ憐メヨ

今モ何時モ世々ニ「アミン」
審判者俄カニ來ラバ人々ノ行ハ顯ハレン故ニ我等夜半ニ畏レテ呼ブ聖々々ナル哉神ヤ生神女ニ因テ我等ヲ憐メヨ

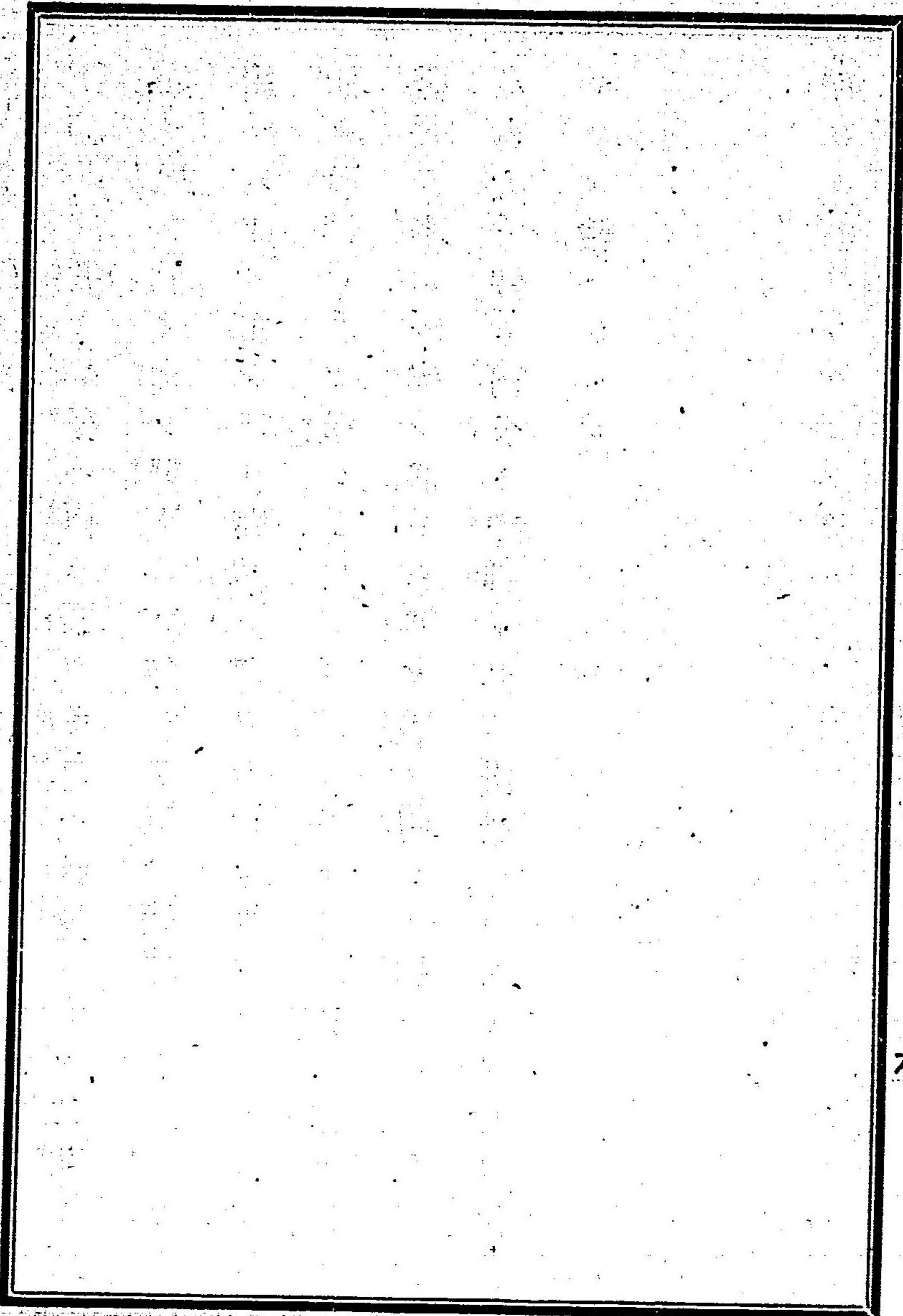
主憐メヨ十二次

祝文一

聖三者ヤ我寤興キテ爾ニ感謝ス蓋爾ノ大ナル仁慈ト寛忍
 ニ依リ我情リテ罪アル者ヲ怒ラズ并ニ我ヲ我ガ惡ト共ニ
 亡サズ乃常ノ仁愛ヲ顯ハシ我ガ無心ニ寢ルヲ興シテ朝ノ
 祈禱ヲ奉リ爾ノ權能ヲ讚榮セシメ給ヘバナリ今モ我ガ靈
 ノ目ヲ照シ我ガ口ヲ開キテ爾ノ言ヲ習ヒ爾ノ誠ヲ悟リ爾
 ノ旨ヲ行ヒ中心ニ承認メテ爾ヲ歌ヒ爾父ト子ト聖神ノ至
 聖ナル名ヲ讚揚セシメ給ヘ今モ何時モ世々ニ「アミン」

祝文二

王神全能者ヤ光榮ハ爾ニ歸ス蓋爾ハ神妙ニシテ仁慈ナル
 慮ヲ以テ我不當ノ罪人ニ寤興キテ爾ノ聖堂ニ入ルヲ容シ
 給ヘバナリ主ヤ我ガ祈禱ノ聲ヲモ爾ガ聖ナル天軍ノ聲ノ
 如ク聆納レ我ガ穢レシ口ヨリ潔キ心ト謙ル靈ヲ以テ爾ニ
 讚揚ヲ奉ルヲ容シ我ニモ我ガ靈ノ明ルキ燈ヲ以テ智慧ヲ
 ル童女ニ伴ヒ爾父ト聖神ト共ニ讚榮セラル、神言ヲ讚榮
 セシメ給ヘ「アミン」



平日夜半課

我等ノ神ハ崇讚ラル今モ何時モ世々ニ

司祭 讀經

「アミン」

我等ノ神ヤ光榮ハ爾ニ歸ス光榮ハ爾ニ歸ス

天ノ王慰ル者ヤ眞實ノ神在ラザル所ナキ者滿タザル所ナ

キ者ヤ萬善ノ寶藏ナル者生命ヲ賜フノ主ヤ來テ我等ノ中

ニ居リ我等ヲ諸ノ穢ヨリ潔クセヨ至善者ヤ我等ノ靈ヲ救

ヒ給ヘ

聖ナル神聖ナル勇毅聖ナル常生ノ者ヤ我等ヲ憐メヨ三次

光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス今モ何時モ世々ニアミン
至聖三者ヤ我等ヲ憐メヨ主ヤ我等ノ罪ヲ潔クセヨ主宰ヤ
我等ノ愆ヲ赦セ聖ナル者ヤ臨テ我等ノ病ヲ癒シ給ヘ悉ク
爾ノ名ニ因ル

主憐メヨ 三次

光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス今モ何時モ世々ニアミン
天ニ在ス我等ノ父ヤ願ハ爾ノ名ハ聖トセラレ爾ノ國ハ來
リ爾ノ旨ハ天ニ行ハル、ガ如ク地ニモ行ハレン我ガ日用
ノ糧ヲ今日我等ニ與ヘ給ヘ我等ニ債アル者ヲ我等免スガ
如ク我等ノ債ヲ免シ給ヘ我等ヲ誘ニ導カズ猶我等ヲ凶惡

司祭

讀經

ヨリ救ヒ給ヘ

蓋國ト權能ト光榮ハ爾ニ世々ニ歸ス

「アミン」

主憐メヨ 十二次

光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス今モ何時モ世々ニアミン

來レ我等ノ王神ニ叩拜セン 叩拜一次

來レハリストス我等ノ王神ニ叩拜俯伏セン 叩拜一次

來レハリストス我等ノ王ト神ノ前ニ叩拜俯伏セン 叩拜一次

第五十聖詠

神ヤ爾ノ大ナル憐ニ因テ我ヲ憐ミ爾ガ惠ノ多キニ因テ我

ノ不法ヲ抹シ給ヘ屢我ヲ我ガ不法ヨリ洗ヒ我ヲ我ガ罪ヨ
 リ清メ給ヘ蓋我ハ我ガ不法ヲ知ル我ノ罪ハ常ニ我ガ前ニ
 在リ我ハ爾獨爾ニ罪ヲ犯シ惡ヲ爾ノ目ノ前ニ行ヘリ爾ハ
 爾ノ審斷ニ義ニシテ爾ノ裁判ニ公ナリ夫レ我ハ不法ニ於
 テ姪マレ我ガ母ハ罪ニ於テ我ヲ生メリ夫レ爾ハ心ニ眞實
 ノアルヲ愛シ我ガ衷ニ於テ智慧ヲ我ニ顯セリ「イソブ」ヲ以
 テ我ニ沃ゲヨ然セバ我深クナラン我ヲ滌ヘヨ然セバ我雪
 ヨリ白クナラン我ニ喜ト樂トナ聞カシ給ヘヨ然セバ爾ニ
 折ラレシ骨ハ欣バン爾ノ顔ヲ我ガ罪ヨリ避ケ我ガ盡クノ
 不法ヲ抹シ給ヘ神ヤ清潔キ心ヲ我ニ造リ正直キ靈ヲ我ノ

衷ニ改メ給ヘ我ヲ爾ノ顔ヨリ逐フ勿レ爾ノ聖神ヲ我ヨ
 リ取上ル勿レ爾ガ救ヒノ喜ヲ我ニ還シ主宰タルノ神ヲ
 以テ我ヲ固メ給ヘ我不法ノ者ニ爾ノ道ヲ教ヘン不虔ノ者
 ハ爾ニ歸ラントス神ヤ我ガ救ヒノ神ヤ我ヲ血ヨリ救ヒ給
 ヘ然セバ我ガ舌ハ爾ノ義ヲ讚揚ゲン主ヤ我ガ唇ヲ啓ケヨ
 然セバ我ガ口ハ爾ノ讚美ヲ揚ゲントス蓋爾ハ祭ヲ欲セズ
 欲スレバ我之ヲ獻ラン爾ハ燔祭ヲ喜バズ神ニ喜バル、ノ
 祭ハ痛悔ノ靈ナリ痛悔シテ謙遜ナルノ心ハ神ヤ爾輕シ給
 ハズ主ヤ爾ノ惠ニ因テ恩ヲシオンニ垂レイエルサリムノ
 城垣ヲ建テ給ヘ其ノ時ニ爾義ノ祭獻物ト燔祭ヲ喜ビ饗ケ

ン其ノ時ニ人々爾ノ祭壇ニ横ヲ奠ヘントス

第十七章 誦經

傳經

我信ズ一ノ神父全能者天ト地見ユルト見エザル萬物ヲ造
リシ主ヲ又信ズ一ノ主イエススハリストス神ノ獨生ノ子
萬世ノ前ニ父ヨリ生レ光ヨリノ光真ノ神ヨリノ真ノ神生
レシ者ニテ造ラレシニ非ズ父ト一体ニシテ萬物彼ニ造ラ
レ我等人々ノ爲又我等ノ救ヒノ爲ニ天ヨリ降り聖神及童
貞女マリヤヨリ身ヲ取り人トナリ我等ノ爲ニボンタイビ
ラトノ時十字架ニ釘ウタレ苦ヲ受ケ葬ラレ第三日ニ聖書

ニ應フテ復活シ天ニ升リ父ノ右ニ坐シ光榮ヲ顯シテ生ケ
ル者ト死セシ者ヲ審判スル爲ニ還來リ其國終リナカラシ
メ

又信ズ聖神主生ヲ施ス者父ヨリ出テ父及子ト共ニ拜マレ
讚メラレ預言者ヲ以テ嘗テ言ヒシヲ又信ズ一ノ聖ナル公
ナル使徒ノ教會ヲ我認ム一ノ洗禮以テ罪ノ赦シヲ得ルヲ
我望ム死者ノ復活並ニ來世ノ生命ヲ「アミン」
聖三祝文 聖ナル神ナル父
主經 天ニ在ス下ニ我等ノ父
蓋國ト權能云々

司祭

讀經

「アミン」

讚詞 第八ノ調

視ヨ新郎ハ夜半ニ來ル僕ノ醒ルヲ見レハ僕ハ幸ナリ其倦
 ナ見レバ當ラザル者ナリ我ガ靈ヤ慎ミテ眠リ惰ル勿レ恐
 クハ死ニ渡サレテ國ノ外ニ閉ザサレン疾ク興キテ呼ベヨ
 聖々々ナル哉神ヤ生神女ニ因テ我等ヲ憐ミ給ヘ
 光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス
 我ガ靈ヤ彼ノ恐ルベキ日ヲ思フテ儆醒シ爾ノ燈ヲ點シ油
 ナ注テ之ヲ明ニセヨ蓋視ヨ新郎ト呼ブノ聲ハ何ノ時爾ニ
 至ルヲ知ラズ我ガ靈ヤ慎メヨ恐クハ五人ノ童女ノ如ク眠

リテ外ニ止リ戸ヲ叩クニ至ラン乃目ヲ覺シテ待テ油ヲ備
 ヘシ燈ヲ以テハリストスヲ迎ヘヨ彼ハ爾ニ其光榮ノ絶妙
 ナル宮ヲ賜ハン
 今モ何時モ世々ニ「アミン」

生神童貞女ヤ我等爾壞ラレザル牆ト救ヒノ固メナル者ニ
 祈ル敵ノ計ヲ敗リ爾ガ民ノ憂ヲ易ヘテ喜トナシ爾ノ城邑
 ナ衛リ皇帝ヲ助ケ世界ノ平安ヲ祈リ給ヘ生神女ヤ爾ハ我
 等ノ恃ミナレバナリ
 主憐メヨ四十次

祝文

何ノ日何ノ時天ニモ地ニモ叩拜讚榮セラレ寛忍鴻慈至善
 ニシテ義人ヲ愛シ罪人ヲ憐ミ來世ノ福ヲ約シテ萬ノ者ヲ
 救ヒニ招クハリストス神ヤ爾主ヤ親ヲ我ガ此時ノ禱ヲモ
 受ケ我等ノ生命ヲ爾ノ誠ニ向ハシメ給ヘ我等ノ靈ヲ聖ニ
 シ休ヲ深クシ慮ヲ直クシ思ヲ淨クシ我等ヲ悉ノ憂ト禍ト
 疾ヨリ救ヒ爾ノ聖ナル神使ヲ以テ我等ヲ環リ我等ガ其ノ
 圍ニ衛リ導カレテ信ノ一ナルト爾ノ近ヅキ難キ光榮ヲ悟
 ルニ至ラセ給ヘ蓋爾ハ世々ニ崇讚メラル「アミン」
 主憐メヨ三次

光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス今モ何時モ世々ニ「アミン」

司祭

ヘルウムヨリ尊クセラフムニ並ビナク榮エ貞操ヲ壞ラズ
 シテ神言ヲ生シ實ノ生神女タル爾ヲ崇讚ム
 神父ヤ主ノ名ヲ以テ福ヲ降セ
 神ヤ我等ニ恩ヲ被ラシ我等ニ福ヲ降シ爾ガ顔ヲ以テ我等
 ヲ照ラシ並ニ我等ヲ憐ミ給ヘ

讀經

「アミン」
 若シアリルイヤ「アレバ」
 聖エフレムノ祝文ヲ二段ニ分サテ誦スルヲ左ノ如シ

司祭

主吾ガ生命ノ主宰ヤ怠惰ト愁悶ト陵駕ト空談ノ情ヲ我ニ
 與フル勿レ叩拜一次

貞操ト謙遜ト忍耐ト愛ノ情ヲ我爾ノ僕ニ與ヘ給ヘ即拜一
嗚呼主王ヤ我ニ我ガ罪ヲ見我ガ兄弟ヲ議セザルヲ賜ヘヨ次
蓋爾ハ世々ニ崇讚メラル「アミン」即拜一次
又躬拜スル「十二次每次默誦シテ曰ク
神ヤ我罪人ヲ淨メ給ヘ

後再前ノ祝文主吾ガ生命ノ主宰「云々」ノ三段ヲ連誦シ畢
テ叩拜スル一次

祝文

讀經

主宰神父全能者主獨生ノ子イイススハリストス及聖神惟
一ノ神性惟一ノ能力ヤ我罪人ヲ憐ミ爾ガ知ル所ノ法ヲ以

テ我不當ノ僕ヲ救ヒ給ヘ蓋爾ハ世々ニ崇讚メラル「アミン」
若シ「アリルイヤ」ナケレバ聖エフレムノ祝文ヲ用ヒズシテ
直ニ右主宰神父全能者云々」ノ祝文ヲ誦シ次テ左ノ祝文二
篇ヲ誦ス

但シ左ノ二篇ノ祝文ハ十月四日ヨリ聖枝ノ主日ニ至ル
マデ之ヲ誦ス

聖大ワシリイノ祝文一

主全能者天軍ト諸ノ肉身ノ神ヤ高ニ居リ卑ニ臨ミ心腹ヲ
悟リ人ノ密事ヲ預メ知リ始ナクシテ常ニ存スルノ光變リ
ナク影ノ移モナキ者ヤ死セザルノ王ヤ我等ガ今爾ガ惠ノ

廣キヲ恃ミ我ガ汚レタル口ヲ以テ爾ニ獻ルノ祈禱ヲ受ケ
我等ガ行ト言ト思ニテ知ルト知ラズシテ犯セシ諸ノ罪ヲ
赦シ我等ヲ肉身ト靈魂ノ諸ノ汚レヨリ淨メ我等ニ醒メタ
ル心ト慎ミノ思ヲ以テ此ノ生命ノ夜ヲ度リ爾ガ獨生ノ子
我ガ主神救者イイススハリストスノ光リ輝クノ日乃萬有
ノ審判者ガ各人ノ行ニ應ジテ酬ユルガ爲メ光榮ヲ顯シテ
來ラン日ノ臨ムヲ俟テ我等ガ偃シ惰ラズ乃醒メ興キテ務
ニ備フルヲ認メラレ喜ト彼ガ光榮ノ妙ナル宮ト彼ノ祝フ
者ノ斷エザル聲及ビ爾ガ顔ノ言ヒ盡サレヌ美善ヲ見ル者
ノ言ヒ盡サレヌ慰ノ處ニ共ニ入ラシメ給ヘ蓋爾ハ萬有ヲ

照シ且ツ聖ニスルノ眞ノ光ナリ總ノ造物ハ爾ヲ世々ニ讚
歌フ「アミン」

聖大ワシリイノ祝文ニ

至上ノ神慈憐ノ主ヤ我等爾ヲ讚揚ス爾ハ常ニ我等ニ廣大
ニシテ測リ難ク光榮ニシテ驚ク可キ數ヘ盡サレヌ事ヲ行
ヒ更ニ我等ニ眠ヲ賜フテ我ガ弱キヲ息マシメ我ガ疲レ易
キ身体ノ苦勞ヲ弛メ給ヒシニヨル我等爾ニ感謝ス蓋我等
ヲ我ガ惡ト與ニ亡ボサズ乃常ノ仁愛ヲ顯ハシ我ガ無心ニ
寢ルヲ興シテ爾ノ權能ヲ讚榮セシメ給ヘバナリ今猶爾ノ
測リ難キ仁慈ニ祈ル我ガ心ト目ヲ照ラシ我ガ智慧ヲ惰リ

ノ眠ヨリ起シ我ガ口ヲ開キテ爾ノ讚美ヲ滿タシ我等ニ絶
ズ爾ヲ歌ヒ爾事毎ニ萬有ヨリ讚榮セラル、ノ神無限ノ父
爾ノ獨生ノ子及ビ至聖至仁生命ヲ施ス爾ノ神ヲ讚揚セシ
メ給ヘ今モ何時モ世々ニ「アミン」

來レ我等ノ王神ニ叩拜セン 叩拜一次

來レハリストス我等ノ王神ニ叩拜俯伏セン 叩拜一次

來レハリストス我等ノ王ト神ノ前ニ叩拜俯伏セン 叩拜一
次

第二百十聖詠

我目ヲ舉ゲテ山ヲ望ム我ガ助ケハ彼處ヨリ來ラン我ガ助
ケハ天地ヲ造リシ主ヨリ來ル彼ハ爾ノ足ニ躓クヲ許サズ

ラン爾ヲ守ル者ハ眠ラザランイズライリヲ守ル者ハ眠ラ
ズ寢チズ主ハ爾ヲ守ル者ナリ主ハ爾ノ右ノ手ノ庇ナリ晝
ニ日ハ爾ヲ傷メザラン夜ニ月モ亦然リ主ハ爾ヲ諸ノ禍ヨ
リ守ラン主ハ爾ノ靈ヲ守ラントス主ハ爾ノ出入ヲ守リテ
今ヨリ世々ニ至ラン

第三百十三聖詠

主ノ諸僕夜中主ノ堂ニ立ツ者ヤ今主ヲ崇讚メヨ爾ノ手ヲ
揚ゲ聖所ニ向フテ主ヲ崇讚メヨ天地ヲ造リシ主ハシオン
ヨリ爾ニ降福セン
光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス今モ何時モ世々ニ「アミン」

司祭

讀經

聖三祝文 至聖三者 主經
蓋國ト權能云々

讚詞 第二ノ調

「アミン」
主ヤ至善ナルニ依テ爾ノ僕婢ヲ記憶シ其一生中ニ犯セシ
罪ヲ赦シ給ヘ蓋爾世ヲ去リシ者ニモ安樂ヲ與フルヲ克ク
スル者ノ外一モ罪ナキハナシ
一ノ造成主深キ智慧ト仁慈ヲ以テ萬事ヲ治メ衆人ニ益
ル事ヲ賜フノ主ヤ爾ガ僕婢ノ靈ヲ安ンゼシメ給ヘ蓋彼等
ハ爾造物主ト造成主ト我ガ神ヲ頼メバナリ

光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス

小讚詞

ハリストスヤ爾ガ僕婢ノ靈ヲ諸聖人ト偕ニ疾モ悲モ歎モ
ナク惟終リナキ生命ノアル處ニ安ンゼシメ給ヘ
今モ何時モ世々「アミン」

生神女讚詞

生神童貞女ヤ我等萬世爾ヲ福ナリト稱フ容ル、能ハザル
ハリストス吾ガ神ハ爾ノ内ニ入り給ヒシニヨル我等モ爾
ノ轉達ニ依テ福ナリ蓋爾ハ晝夜我等ノ爲ニ祈禱シ諸國ノ
權柄モ爾ノ祈禱ヲ以テ固メラルレバナリ故ニ我等歌フテ

爾ニ呼ブ慶ベヨ恩寵ニ満タサル、者ヤ主ハ爾ト偕ニス
主憐メヨ十二次

祝文

主ヤ復活ト永生ノ望ヲ懷テ眠リシ我等ノ諸父兄弟及ビ都
ノ敬虔ト信仰ヲ以テ世ヲ終リシ者ヲ記憶シ彼等ニ凡ソ自
由ト自由ナラズシテ或ハ言或ハ行或ハ思ニテ犯セシ罪ヲ
赦シ彼等ヲ明ルキ處涼シキ處安樂ノ處諸ノ疾ト悲ト嘆ノ
遠ザカリシ處爾ガ顔ノ光ノ輝キテ世々ヨリ爾ノ悉ノ聖者
ヲ樂マシムル處ニ住ハセ彼等ト我等ニ爾ノ國ト爾ノ言ヒ
難キ永遠ノ福樂ニ與ルト爾ノ限リナキ福ナル生命ノ喜

司祭

ヲ與ヘ給ヘ蓋ハリストス我等ノ神ヤ爾ハ眠リシ爾ノ僕婢
ノ生命ト復活ト安樂ナリ我等爾ト爾ノ無原ノ父ト至聖至
仁生命ヲ施ス爾ノ神ニ光榮ヲ皈ス今モ何時モ世々ニアミ
ン
至榮ナル永貞童女ハリストス神ノ母ヤ我等ノ祈禱ヲ爾ノ
子吾ガ神ニ携ヘ爾ニ因テ我等ノ靈ヲ救ハシメ給ヘ
我ガ憑恃ハ父我ガ避所ハ子我ガ幟幟ハ聖神ナリ聖三者ヤ
光榮ハ爾ニ歸ス
ハリストス神我等ノ憑恃ヤ光榮ハ爾ニ歸ス光榮ハ爾ニ歸
ス

詠隊

光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス今モ何時モ世々ニアミン

主憐メヨ三

福ヲ降セ
司祭發放詞ヲ誦シテ曰ク

司祭

ハリストス我等ノ眞ノ神ハ其至淨ノ母ト吾ガ克育捧神ナル神父ト諸聖人ノ祈禱ニ因テ我等ヲ憐ミ救ハシ彼ハ仁慈ニシテ人ヲ愛スル主ナレバナリ

詠隊

「アミン」
聯禱

司祭

吾ガ大皇帝 睦仁ノ爲ニ禱ラン

詠隊

主憐メヨ以下毎句疾唱

司祭

吾ガ大皇后 美子ノ爲メ
吾ガ皇太子及ヒ皇族ノ爲メ
至聖ナル教會ヲ治ル會院ノ爲メ
ハリストスヲ愛スル官軍ヲ扶ケ固ムルガ爲メ
我等ノ神父(基)並ニハリストスニ於ル我等ノ諸兄弟ノ爲メ
我等ヲ恨ミ及我等ヲ愛スル者ノ爲メ
我等ヲ憐ミ及我等ニ務ル者ノ爲メ
我等不當ノ者ニ已ニ代リテ祈ルヲ頼ミシ人々ノ爲メ
擲トナリシ者ノ救ハル、ガ爲メ

詠隊

司祭

他出セル我等ノ諸父兄弟ノ爲メ
 海ヲ航ル者ノ爲メ
 病ニ臥ス者ノ爲メニ禱ラン
 又地ノ果ノ豊ナルガ爲メ
 及ビ悉ク正教ノ「ハリストス」ノ靈ノ爲ニ禱ラン
 敬虔ノ諸王正教ノ諸主教及此ノ聖堂ノ建立者我等ノ父母
 ト已ニ過去リシ我等ノ諸父兄弟凡ソ此處ト諸方ニ葬ラレ
 タル正教ノ者ヲ記憶シテ彼等ノ爲ニモ曰ハン
 主憐メヨ三次
 主イイススハリストス我等ノ神ヤ吾ガ諸聖神父ノ祈禱ニ

詠隊

依テ我等ヲ憐メヨ
 「アミン」
 右ハ平日夜半課ノ禮儀
 聖アフォン山ニ於テハ右主ヤ復活ト永生ノ望ヲ云々ノ祝文
 ノ後左ノ讚詞ヲ誦ス
 主ヤ我等ヲ憐メヨ我等ヲ憐メヨ我等罪人何ヲ謂フベキヲ
 知ラズ唯此ノ祈禱ヲ爾主宰ニ獻ゲテ曰フ我等ヲ憐メヨ
 光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス
 主ヤ我等ヲ憐メヨ我等爾ヲ恃バナリ我等ヲ痛ク怒ル勿レ
 我等ノ不法ヲ憶フ勿レ今モ仁慈ナルニ因テ憐ヲ垂レ我等

司祭

司祭

ナ諸ノ敵ヨリ救ヒ給ヘ爾ハ我等ノ神ニテ我等ハ爾ノ民ナ
 リ皆爾ノ手ノ作レル者ニテ爾ノ名ヲ籤ブニ因ル
 今モ何時モ世々ニ「アミン」
 讚美タル生神女ヤ我等ノ爲ニ憐ノ門ヲ開キ爾ヲ恃ム者ニ
 亡ルコナク爾ニ依テ禍ヲ道ル、ヲ得セシメ給ヘ爾ハハリ
 ストスノ民ノ救ヒナレバナリ
 神ヤ爾ノ大ナル憐ニ依テ我等ヲ憐メヨ爾ニ祈ル聆納レテ
 憐メヨ
 主憐メヨ三次
 又此ノ城邑ト此ノ聖堂及悉ノ城邑ト悉ノ國ガ饑饉留害地

詠隊

高司

詠隊

震水難火難劍難外攻内亂ヨリ守ラレ吾ガ仁慈ニシテ人ナ
 愛スル神ガ我等ニ矜恤ト慈憐ヲ垂レ凡ソ我等ニ向フ怒ヲ
 息メ我等ニ迫ル義罰ヨリ我等ヲ救ヒ我等ヲ憐ムガ爲ニ祈
 ル
 主憐メヨ四次
 吾神救世主ヤ陸ノ四方及ビ遠ク海ニ在ル者ノ憑恃ヤ我等
 ニ聆納レ給ヘ主宰ヤ仁慈ヲ顯ハシ慈憐ヲ垂レテ我等ノ罪
 ナ赦シ我等ヲ憐ミ給ヘ爾ハ仁慈ニシテ人ヲ愛スル神ナレ
 バナリ我等爾父ト子ト聖神ニ光榮ヲ歸ス今モ何時モ世々
 ニ

詠隊

「アミン」

嗣テ光榮云々今モ云々發放詞及ニ其他畢ニ至ル迄右ニ載
スル所ノ如シ

[Faint text in the right column, likely bleed-through or secondary text]

「スボタ」夜半課

司祭

讀經

我等ノ神ハ崇讚メラル今モ何時モ世々ニ

「アミン」

我等ノ神ヤ光榮ハ爾ニ歸ス光榮ハ爾ニ歸ス

天ノ王

云々 聖三祝文 至聖三者 主經

蓋國ト權能云々

「アミン」

司祭

讀經

主憐メヨ十二次

光榮云々今モ云々

來レ我等ノ王神ニ叩拜セン云々

第五十聖詠

神ヤ爾ノ大ナル憐ニ因テ我ヲ憐ミ云々

右ハ昔平日夜半課ノ始ニ録スルガ如シ

第九坐誦經

信經

我信ズ一ノ神父全能者云々見ヨ十二葉チ

聖三祝文 至聖三者 主經

讚詞 第二ノ調

造ラレザルノ性萬物ノ造者ヤ我等ノ口ヲ開キ爾ノ讚美ヲ

宣ヘテ呼バシメ給ヘ聖々々ナル哉神ヤ生神女ニ因テ我等
ヲ憐メヨ

光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス

仁慈ナル主ヤ我等地ニ於テ天上ノ軍ニ劬ヒ凱歌ヲ爾ニ奉

ル聖々々ナル哉神ヤ生神女ニ因テ我等ヲ憐メヨ

今モ何時モ世々ニアミン

主ヤ爾ハ我ヲ覺シテ榻ヨリ起セリ我ガ智慧ト心ヲ照シ我

ガ口ヲ開キ爾聖三者ヲ讚歌ハセ給ヘ聖々々ナル哉神ヤ生

神女ニ因テ我等ヲ憐メヨ

主憐メヨ四ノ次

司祭

讀經

何ノ日何ノ時天ニヨ地ニモ云々十六葉ヲ
 主憐メヨ三次
 光榮云々今モ云々
 ヘルワムヨリ尊ク云々
 神父ヤ主ノ名ヲ以テ福ヲ降セ
 神ヤ我等ニ恩ヲ被ラシ云々
 「アミン」
 主宰神父全能者主獨生ノ子云々十八葉ヲ
見ヨ 聖大致命者エウストラテイノ祝文
 主ヤ我爾ヲ讚揚ゲ爾ヲ讚揚グル蓋爾ハ我が卑微キヲ願

我ヲ敵ノ手ニ圍マシメズシテ我が靈ヲ危難ヨリ救ヒ給ヒ
 シニヨル主宰ヤ願ハ今モ爾ノ手ハ我ヲ覆ヒ爾ノ憐ハ我ニ
 臨マン蓋我が靈ハ亂レテ我が不當ニシテ穢レタル此ノ肉
 体ヨリ離ル、ヲ以テ憂ヒトナス恐クハ敵ノ凶惡ナル黨ハ
 之ヲ迎ヘ斯ノ世ニ於テ我が犯セシ知ルト知ラザル罪ノ爲
 ニ之ヲ闇冥ニ仆サン主宰ヤ憐ミテ我ニ垂レ給ヘ願ハ我が
 靈ハ凶惡ナル魔鬼ノ怒レル眼ヲ視ズ乃光明ニシテ輝キタ
 ル爾ノ使等ニ受ケラレン爾ノ聖ナル名ノ光榮ヲ顯シ爾ノ
 カニテ我ヲ爾ノ妙ナル審判所ニ上ボシ我が審判セララル、
 時斯ノ世ノ君ノ手ニ我罪人ヲ捕ヘテ地獄ノ淵ニ陷イレシ

ヌズ乃爾ハ我ニ臨ミテ我ヲ救ヒ我ヲ守ル者トナリ給ヘ蓋
 此ノ肉体ノ苦ハ爾ノ僕ノ爲ニ樂ナリ主ヤ斯ノ世ノ愆ニ汚
 カレタル我靈ヲ憐レミ之ヲ罪ノ認メト悔ミニテ清メラレ
 シ者トシテ受ケ給ヘ蓋爾ハ世々ニ崇讃メラル「アミン」
 來レ我等ノ王神ニ叩拜セン云々是ヨリ廿二葉
以下ヲ見
 我目ヲ舉ゲテ山ヲ望ム云々
 主ノ諸僕夜中主ノ堂ニ立ツ者ヤ云々
 光榮云々今モ云々
 聖三祝文 至聖三者 主經
 讚詞

主ヤ至善ナルニ依テ爾ノ僕婢ヲ記憶シ云々
 一ノ造成主深キ智慧ト仁慈ヲ以テ云々
 光榮云々
 ハリストスヤ爾ガ僕婢ノ靈ヲ諸聖人ト偕ニ云々
 今モ云々
 生神童貞女ヤ我等萬世爾ヲ福ナリト稱フ云々
 主憐メヨ十二次
 主ヤ復活ト永生ノ望ヲ懷テ眠シ云々
 司祭ノ發放詞及ビ其他皆平日夜半課ノ如シ

主日夜半課

司祭

讀經

我等ノ神ハ崇讃ラル今モ何時モ世々ニ

「アミン」

我等ノ神ヤ光榮ハ爾ニ歸ス光榮ハ爾ニ歸ス

天ノ王云々 聖三祝文 至聖三者 主經

司祭

讀經

主憐メヨ十二次

光榮云々今モ云々

來レ我等ノ王神ニ叩拜セン云々

第五十聖詠

神ヤ爾ノ大ナル憐ニ因テ我ヲ憐ミ云々

右ハ皆平日夜半課ノ始ニ
録スルカ如シ

聖三規程ヲ誦ス本日ノ調ニ依ル

畢テ後左ノ聖三讚詞ヲ誦ス

爾神言ヲ讚榮スルハ眞ニ當レリ我等畏敬テヘルワムガ戰

栗キ天軍ガ崇歌フ第三日ニ墓ヨリ復活セシハリストス生

命ヲ賜フ者ヲ讚榮セン

我等皆神ニ適フ聖ナル歌ヲ以テ父ト子ト聖神三位ノ權柄

一ナル國ト宰制ヲ讚歌ハン

地上ノ諸族ニ歌ハレ天上ノ諸軍ニ尊マレ萬有ヨリ信ヲ以

テ拜マル、性ニ於テ一ニシテ位ニ於テ三ナル者ヲ崇讚メ

ン

ヘルワムヲ宰ルノ主セラフムヲ治ルノ神別レザル三者惟

一ノ神性ヲ崇讚メン

無原ノ神父同無原ノ言及ビ聖神ニ叩拜シ相ヒ離レザル一

性三位ナル惟一ヲ歌ヲ以テ讚揚ゲン

吾ガ神三位ナル造物主ヤ爾ノ輝ケル電ニテ我ヲ照ラシ我

ヲ爾ノ近ヅキ難キ光榮ノ明ルクシテ光レル變ラザル家ト

ナラシメ給へ

我等畏敬テヘルロムガ戰栗キ神使ノ軍ガ崇歌ヒ童貞女ヨリ言ヒ難クシテ身ヲ取リシハリストス生命ヲ賜フ者ヲ讚

榮セン

聖三祝文

至聖三者

主經

本主日ノ誦ノ應答歌

主憐メヨ 四十次

光榮云々今モ云々

ヘルロムヨリ尊ク云々

神ヤ我等ニ恩ヲ被ラシ云々

高司 聲祭

讀經

全能ニシテ生命ヲ施ス聖三者云々
發放詞

聯禱

司祭

吾ガ大皇帝云々終ニ至ル 廿八葉
ナ見ユ

詠隊

主憐メヨ 三次

司祭

主イエススハリストス我等ノ神ヤ吾ガ諸聖神父ノ祈禱ニ
依テ我等ヲ憐メヨ

詠隊

「アミン」

早課

我等ノ神ハ崇讚メラル今モ何時モ世々ニ

司祭 讀經

「アミン」

大四旬齋ニ値レハ誦スルヲ左ノ如シ

聖ナル神聖ナル勇毅聖ナル常生ノ者ヤ我等ヲ憐メヨ

光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス今モ何時モ世々ニ「アミン」

至聖三者ヤ我等ヲ憐メヨ主ヤ我等ノ罪ヲ潔クセヨ主宰ヤ

我等ノ愆ヲ赦ルセ聖ナル者ヤ臨テ我等ノ病ヲ癒シ給ヘ悉

ク爾ノ名ニ因ル

主憐メヨ三次

光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス今モ何時モ世々ニ「アミン」
 天ニ在ス我等ノ父ヤ願ハ爾ノ名ハ聖トセラレ爾ノ國ハ來
 リ爾ノ旨ハ天ニ行ハル、ガ如ク地ニモ行ハレン我ガ日用
 ノ糧ヲ今日我等ニ與ヘ給ヘ我等ニ債アル者ヲ我等免スガ
 如ク我等ノ債ヲ免シ給ヘ我等ヲ誘ニ導カズ猶我等ヲ凶惡
 ヨリ救ヒ給ヘ

司祭

讀經

蓋國ト權能ト光榮ハ爾ニ世々ニ歸ス

「アミン」

主憐メヨ三次

光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス今モ何時モ世々ニ「アミン」

來レ我等ノ王神ニ叩拜セン叩拜一次

來レハリストス我等ノ王神ニ叩拜俯伏セン叩拜一次

來レハリストス我等ノ王ト神ノ前ニ叩拜俯伏セン叩拜一
次

爾テ左ノ二聖詠ヲ誦ス

六四旬齋ニ非ザレバ司祭降福ノ後誦スルヲ左ノ如シ

來レ我等ノ王神ニ叩拜セン云々並ニ左ノ二聖詠

此ノ聖詠徐カニ誦スベシ蓋此ノ時司祭寶座各位ノ聖像
 及ビ衆人ノ前ニ於テ爐儀ヲ行フニヨル

第十九聖詠

願ハ主ハ憂ノ日ニ於テ爾ニ聽キイヤコフノ神ノ名ハ爾ヲ
 扞衛ラシテ願ハ聖所ヨリ助ケテ爾ニ施シシオンヨリ爾ヲ固
 メン願ハ爾ガ悉ノ獻物ヲ記憶シ爾ノ燔祭ヲ肥エタル物ト
 セン願ハ主ハ爾ノ心ニ循テ爾ニ與ヘ爾ガ都テノ謀ル所ヲ
 成サン我等ハ爾ノ救ヲ喜ビ吾ガ神ノ名ニ依テ旌ヲ揚ゲン
 願ハ主ハ爾ガ都テノ願ヲ成サン今我主ガ其膏傳ケラレシ
 者ヲ救フヲ知レリ彼ハ聖天ヨリ其救ヒノ右ノ手ノ力ヲ以
 テ之ニ對フ或ハ車ヲ以テ或ハ馬ヲ以テ誇ル者アリ唯我等
 ハ主吾ガ神ノ名ヲ以テ誇ル彼等ハ動テ顛レ唯我等ハ起キ
 テ直ク立ツ主ヤ王ヲ救ヘ又我等ガ爾ニ籲バン時我等ニ聽

キ給ヘ

第廿聖詠

主ヤ王ハ爾ノ力ヲ樂ミ爾ノ救ヲ歡ブ極リナシ其心ニ望
 ム所ハ爾之ヲ與ヘ其口ニ求ムル所ハ爾之ヲ辭マズ蓋爾ハ
 仁慈ノ降福ヲ以テ之ヲ逐ヘ純金ノ冠ヲ其首ニ冠ラセリ彼
 生命ヲ爾ニ願ヒシニ爾之ニ世々ノ壽ヲ賜ヘリ彼ノ榮ハ爾
 ノ救ヲ以テ大イナリ爾ハ尊榮ト威嚴ヲ之ニ被ラセリ爾ハ
 彼ニ幸福ヲ世々ニ賜ヒ爾ガ顔ノ歡ニテ彼ヲ樂マセリ蓋王
 ハ主ヲ賴ミ至上者ノ仁慈ニ因テ動カザラン爾ノ手ハ爾ガ
 悉ノ敵ヲ尋テ出シ爾ノ右ノ手ハ凡ソ爾ヲ憾ム者ヲ尋テ出

司祭 讀經

サントス爾怒ル時彼等ヲ火爐ノ如クナサン主ハ其怒ニ於
 テ彼等ヲ滅シ火ハ彼等ヲ醫ントス爾ハ彼等ノ果ヲ地ヨリ
 絶チ彼等ノ種ヲ人ノ子ノ中ヨリ絶ントス盖彼等ハ爾ニ向
 フテ惡事ヲ企テ謀ヲ設クレモ之ヲ遂グル能ハズ爾彼等
 ナ立テ、的トナシ爾ノ弓ヲ以テ矢ヲ其面ニ發ダントス主
 ヤ爾ノ力ヲ以テ自舉レヨ我等ハ爾ノ權能ヲ頌讚メン
 光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス今モ何時モ世々ニ「アミン」
 聖三祝文 至聖三者 主經
 盖國ト權能云々
 「アミン」

讚詞

主ヤ爾ノ民ヲ救ヒ爾ノ業ニ福ヲ降セ吾ガ皇帝其ニ敵ニ勝
 タシメ爾ノ十字架ニテ爾ノ住所ヲ護リ給ヘ
 光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス
 甘ンシテ十字架ニ舉ゲラレシハリストス神ヤ爾ガ同名ノ
 新ナル住所ニ爾ノ恵ヲ垂レ給ヘ爾ノ力ヲ以テ吾ガ皇帝其
 ナ樂マセ其諸敵ニ勝タシメ給ヘ彼ハ爾ガ和平ノ武器勝タ
 レヌ勝ヲ以テ其助ケトスレバナリ
 今モ何時モ世々ニ「アミン」
 威嚴ニシテ恥ヲ得セシメザル轉達至善ニシテ讚詠セラル

司祭

、生神女ヤ我等ノ祈禱ヲ輕ンゼズ正教ノ人ノ住所ヲ固メ
爾ガ國權ヲ執ラシムル我等ノ皇帝某ヲ救フテ天ヨリ勝利
ヲ與ヘ給ヘ獨恩寵ニ滿タサル、者ヤ爾ハ神ヲ生ミタレバ
ナリ

詠隊

神ヤ爾ノ大ナル憐ニ因テ我等ヲ憐メヨ爾ニ祈ル聽納レテ
憐メヨ

司祭

又吾ガ皇帝 睦仁皇后 美子皇太子及ビ皇族ノ爲ニ

詠隊

祈ル
主憐メヨ三次

司祭

又至聖ナル教會ヲ治ル會院ノ爲ニ祈ル

詠隊

主憐メヨ三次

司祭

又衆兄弟ト衆ハリステアニンノ爲ニ祈ル

詠隊

主憐メヨ三次

司祭

蓋爾ハ仁慈ニシテ人ヲ愛スルノ神ナリ我等爾父ト子ト聖

詠隊

神ニ光榮ヲ歸ス今モ何時モ世々ニ

「アミン」
神父ヤ主ノ名ヲ以テ福ヲ降セ

司祭

光榮ハ一性ニシテ生命ヲ施ス分レザル聖三者ニ歸ス今モ

何時モ世々ニ

詠隊

「アミン」

是ノ時請經者敬デ左ノ六段ノ聖詠ヲ誦ス衆人感情ヲ以テ之ヲ聽ク

讀經

至高ニハ光榮神ニ歸シ地ニハ平安降り人ニ惠ハ臨メリ
主ヤ我が唇ヲ啓ケヨ然セバ我が口ハ爾ノ讚美ヲ揚ゲント
スニ次

第三聖詠

主ヤ我が敵ハ何ゾ多キヤ多クノ者ハ我ヲ攻ム多クノ者ハ
我が靈ヲ指シテ彼救ヒテ神ニ得ズト云フ然レモ主ヨ爾ハ
我ヲ衛ルノ盾ナリ我ノ榮ナリ爾ハ我が首ヲ擧グ我が聲ヲ

以テ主ニ籲ブニ主ハ其聖山ヨリ我ニ聽キ給フ我臥シ眠リ
又覺ム蓋主ハ我ヲ扞衛レバナリ環リテ我ヲ攻ムルノ萬民
ハ我懼ル、ナシ主ヤ起テヨ吾ガ神ヤ我ヲ救ヒ給ヘ蓋爾ハ
我が諸敵ノ煩ヲ批テ惡人ノ齒ヲ折ケリ救ヒハ主ニ依ル爾
ノ降福ハ爾ノ民ニ在リ

我臥シ眠リ又覺ム蓋主ハ我ヲ扞衛レバナリ

第卅七聖詠

主ヤ爾ノ憤ヲ以テ我ヲ責ル毋レ爾ノ怒ヲ以テ我ヲ罰スル
毋レ蓋爾ノ矢ハ我ニ刺サリ爾ノ手ハ重ク我ニ加ハル爾ノ
怒ニ依テ我が肉ニ傷マザル所ナク我ノ罪ニ因テ我が骨ハ

安キヲ得ズ蓋我が不法ハ我が首ニ溢レ重任ノ如ク我ヲ壓
 ス我ノ無智ニ依リ我傷腐レテ且ツ臭シ我屈リテ仆レント
 シ終日憂ヒテ行ク蓋我が腰ハ熱ニ腦マサレ我が肉ニ傷マ
 ザル所ナシ我力衰ヘテ痛ク憊レ我が心ノ裂ルニ依テ號ブ
 主ヤ我が悉ノ願ヒハ爾ノ前ニ在リ我が歎息ハ爾ニ隠ル、
 ナシ我が心ハ戰栗キ我が力ハ我ヨリ脱ケ我が目ノ光モ已
 ニ我ニアルナシ我が朋ト親キ者トハ我が傷ヲ見テ離レ我
 ガ親戚ハ遠ザカリテ立ツ我が生命ヲ覓ムル者ハ網ヲ設ケ
 我ヲ害ハント欲スル者ハ我が亡ビノヲ言フテ毎日惡キ
 謀ヲ圖ム然レモ我ハ聾ノ如ク聽カズ啞ノ如ク己ノ口ヲ啓

カズ是ニ於テ我ハ聞ナク其ノ口答フル所ナキ人ノ如クナ
 レリ蓋主ヨ我爾ヲ恃ム主吾ガ神ヤ爾聽キ給ハン我曾テ言
 ヘリ願ハ敵ハ我ニ勝タザラン我が足ノ跌カントスル時彼
 等ハ我ニ向フテ誇リ高ブル我殆ド仆レントス我ノ憂ヒハ
 常ニ我が前ニ在リ我ハ我が不法ヲ認メ我が罪ノ爲ニ甚マ
 哀ム我が敵ハ生キテ愈強ク故ナクシテ我ヲ疾ム者ハ益多
 シ惡ヲ以テ我ノ善ニ報ユル者ハ我が善ニ従フニ因テ我ノ
 敵トナレリ主吾ガ神ヤ我ヲ遺ツル勿レ我ニ遠ザカル毋レ
 主我ノ救主ヤ速ニ來リテ我ヲ救ヒ給ヘ
 主吾ガ神ヤ我ヲ遺ル勿レ我ニ遠ザカル毋レ主我ノ救主ヤ

速カニ來リテ我ヲ救ヒ給ヘ

第六十二聖詠

神ヤ爾ハ我ノ神ナリ我曉ヨリ爾ヲ尋ヌ我ガ靈ハ渴キテ爾
 ナ望ミ我ガ身ハ痛ク爾ヲ慕ヒ空クシテ燥ケル水ナキノ地
 ニアリ爾ノ能力ト爾ノ光榮ヲ見ルハ我曾テ爾ヲ聖所ニ觀
 シガ如クナランヲ願フ蓋爾ノ憐ハ生命ニ愈ル我ガ口爾ヲ
 讚美セントス是ノ如ク我生ケル時爾ヲ崇讚メ爾ノ名ニ依
 テ我ガ手ヲ揚ゲン我ガ靈ノ飽サル、フ脂油ヲ以テスルガ
 如ク我ガ口歡ビノ聲ニテ爾ヲ讚美ス揚ニテ爾ヲ記憶シ夜
 更ニ爾ヲ思フ時ニ於テス蓋爾ハ我ノ扶ケナリ爾ガ翼ノ蔭

ニテ我欣バントス我ガ靈ハ親ク爾ニ附キ爾ノ右ノ手ハ我
 ナ扶ク彼ノ我ガ靈ヲ害ハン_フヲ謀ル者ハ地ノ深キ處ニ降
 ラシカレカサズイヌ彼必又ニ攫リテ狐ノ獲物トナラントス惟王ハ神ノ爲
 ニ樂マン凡ソ彼ヲ以テ誓フ者ハ譽ヲ得ン蓋誑ヲ言フ者ノ
 口ハ塞レントス
 夜更ニ爾ヲ思フ蓋爾ハ我ノ扶ケナリ爾ガ翼ノ蔭ニテ我欣
 バントス我ガ靈ハ親ク爾ニ附キ爾ノ右ノ手ハ我ヲ扶ク
 光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス今モ何時セ世々ニ「アミン」
 「アリルイヤ」アリルイヤ「アリルイヤ」神ヤ光榮ハ爾ニ歸ス
 主憐メヨ 三次

光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス今モ何時モ世々ニ「アミン」
 是ノ時司祭無冠ニシテ至聖所ヨリ出テ王門ノ前ニ立ナテ
 早課祝文ヲ默誦ス

第八十七聖詠

主吾ガ救ヒノ神ヤ我晝夜爾ノ前ニ籲ブ願ハ我ガ禱ハ爾ガ
 顔ノ前ニ至リ爾ノ耳ヲ我ガ願ニ傾ケヨ蓋我ガ靈ハ苦難ニ
 満タサレ我ガ生命ハ地獄ニ近ヅケリ我ハ墓ニ入ル者ト等
 クナリ力ナキ人ノ如クナレリ死人ノ中ニ投ゲラレ猶殺サ
 レテ柩ニ臥シ爾ニ復記憶セラレズ爾ノ手ヨリ絶レシ者ノ
 如シ爾曾テ我ヲ深坎ト闇冥ト淵ニ置ケリ爾ノ憤ハ重ク我

ニ加ハリ爾ノ涙ヲ傾ケテ我ヲ撃テリ爾我ガ識ル所ノ者ヲ
 我ヨリ遠ケ我ヲ彼ニ惡マル、者トナセリ我閉サレテ出ル
 ナ得ズ我目ハ愁苦ニ因テ痛ク疲ル主ヤ我終日爾ヲ籲ビ手
 ナ伸ベテ爾ニ向ヘリ爾豈ニ死セシ者ニ奇跡ヲ施サンヤ死
 セシ者豈ニ能ク起テ爾ヲ讚揚センヤ爾ノ憐ハ墓ノ中ニ爾
 ノ眞ハ腐ル、ノ地ニ豈ニ知ラサル、ヲ得ンヤ爾ノ奇跡ハ
 闇冥ニ爾ノ義ハ忘ル、ノ地ニ何ゾ識ラル、ヲ得ンヤ主ヤ
 我爾ニ籲ブ我ノ禱ハ晨ニ爾ノ前ニ在リ主ヨ爾ハ何爲ゾ我
 ガ靈ヲ棄テ爾ノ顔ヲ我ニ隠シ給フヤ我少キヨリ禍ニ遭ヒ
 幾ト消亡セントシ爾ノ驚駭ヲ受ケテ我ガ疲ハ極レリ爾ノ

憤ハ己ニ我ヲ度リ爾ノ驚駭ハ己ニ我ヲ碎ケリ毎日我ヲ環
 ルノ水ノ如ク齊ク集テ我ヲ圍ム爾我ガ友ト親キ者ト我
 ヨリ遠ザケ我ガ識ル所ノ者ハ見エス
 主吾ガ救ヒノ神ヤ我晝夜爾ノ前ニ籲ブ
 願ハ我ガ禱ハ爾ガ顔ノ前ニ至リ爾ノ耳ヲ我ガ願ヒニ傾ケ
 ヌ

第百二聖詠

我ガ靈ヤ主ヲ讚揚ゲヨ我ガ中心ヤ其聖ナル名ヲ讚揚ゲヨ
 我ガ靈ヤ主ヲ讚揚ゲヨ彼ガ悉ノ恩ヲ忘ル、毋レ彼ハ爾ガ
 諸ノ不法ヲ赦シ爾ガ諸ノ疾ヲ療ス爾ノ生命ヲ墓ヨリ救ヒ

憐ト惠ヲ爾ニ冠ラシ幸福ヲ爾ノ望ミニ飽カシム爾ガ若復
 ヘサル、下驚ノ如シ主ハ凡ソ迫害セラル、者ノ爲ニ義ト
 審判ヲ行フ彼ハ己ノ途ヲモイセイニ示シ己ノ行フ所ヲイ
 ブライリノ子ニ示セリ主ハ宏慈ニシテ矜恤寛忍ニシテ鴻
 恩ナリ怒リテ終リアリ憤ヲ永ク懷カズ我ガ不法ニ因テ我
 等ニ行ハズ我ガ罪ニ因テ我等ニ報イズ天ノ地ヨリ高キガ
 如ク彼ヲ畏ル、者ニ於ル主ノ憐ハ大ナリ東ノ西ヨリ遠キ
 ガ如ク主ハ我ガ不法ヲ我等ヨリ遠ザケリ父ガ其子ヲ憐ム
 ガ如ク主ハ之ヲ畏ル、者ヲ憐ム蓋彼ハ我ガ何ヨリシテ造
 ラレシヲ知リ我等ノ塵ナルヲ記念ユ人ノ日ハ草ノ如ク其

榮ル^カ田ノ華ノ如シ^ク風之ニ過レバ無キニ歸シ^テ其有リシ處
 モ亦之ヲ識ラズ^ニ惟主ノ憐ハ之ヲ畏ル、者ニ世ヨリ世ニ至
 リ彼ノ義ハ其約ヲ守リ^テ其誠ヲ懷フテ之ヲ行フノ子々孫々
 ニ及バン主ハ其寶座ヲ天ニ建テ其國ハ萬物ヲ統治ム主ノ
 諸ノ神使能力ヲ具ヘ其聲ニ遵テ其言ヲ行フ者ヤ主ヲ讚揚
 ゲヨ主ノ悉ノ軍其旨ヲ行フ役者ヤ主ヲ讚揚ゲヨ凡ソ主ノ
 造ル所ノ者ヤ其ノ一切治ル處ニ於テ主ヲ讚揚ゲヨ我が靈
 ヤ主ヲ讚揚ゲヨ
 其ノ一切治ル處ニ於テ我が靈ヤ主ヲ讚揚ゲヨ

第四百四十二聖詠

主ヤ我が禱ヲ聆ケヨ爾ノ眞實ニ依テ我が願ヒニ耳ヲ傾ケ
 ヨ爾ノ義ニ依テ我ニ聽キ給ヘ爾ノ僕ト訟ヲ爲ス毋レ蓋凡
 ソ生命アル者ハ一モ爾ノ前ニ義トセラレザラン敵ハ我が
 靈ヲ逐ヒ我が生命ヲ地ニ蹂リ我ヲ久ク死スル者ノ如ク暗
 キニ居ラシム我が靈ハ我ノ衷ニ悶ヘ我が心ハ我ノ衷ニ曠
 キガ如シ我古ノ日ヲ想ヒ凡ソ爾ノ行ヒシヲ考ヘ爾ガ手
 ノ工作ヲ計ル我が手ヲ伸ベテ爾ニ向ヒ我が靈ハ渴キシ地
 ノ如ク爾ヲ慕フ主ヤ速ニ我ニ聽キ給ヘ我が靈ハ衰ヘタリ
 爾ノ顔ヲ我ニ隠ス^ト毋レ然ラザレハ我ハ墓ニ入ル者ノ若
 クナラン我ニ夙ニ爾ノ憐ヲ聽カシメ給ヘ我爾ヲ頼メバナ

リ主ヤ我ニ行クヘキ途ヲ示シ給ヘ我ガ靈ヲ爾ニ舉グレバ
 ナリ主ヤ我ヲ我ガ敵ヨリ救ヒ給ヘ我爾ニ趨附ク我ニ爾ノ
 旨ヲ行フヲ教ヘ給ヘ爾ハ我ノ神ナレバナリ願クハ爾ノ善
 ナル神ハ我ヲ義ノ地ニ導カン主ヤ爾ノ名ニ依テ我ヲ生カ
 シ給ヘ爾ノ義ニ依テ我ガ靈ヲ苦難ヨリ出シ給ヘ爾ノ憐ヲ
 以テ我ガ敵ヲ滅シ凡ソ我ガ靈ヲ攻ムル者ヲ夷ゲ給ヘ我ハ
 爾ノ僕ナレバナリ
 主ヤ爾ノ義ニ依テ我ニ聽キ給ヘ爾ノ僕ト訟ヲ爲ス毋レ
 主ヤ爾ノ義ニ依テ我ニ聽キ給ヘ爾ノ僕ト訟ヲ爲ス毋レ
 願ハ爾ノ善ナル神ハ我ヲ義ノ地ニ導カン

光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス今モ何時モ世々ニアミン
 「ア ril ル イ ヤ」ア ril ル イ ヤ「ア ril ル イ ヤ」神ヤ光榮ハ爾ニ歸ス
 補祭聯禱ヲ誦ス補祭ナケレバ
司祭之ヲ誦ス
 畢テ後本日ノ讚詞ノ調ニ依テ歌フ左ノ如シ
 主ハ神ナリ我等ヲ照セリ主ノ名ニ依テ來ル者ハ崇讚メラ
 ル
 第一句主ヲ尊讚メヨ彼ハ仁慈ニシテ其憐ハ世々ニアレバ
 ナリ
 第二句彼等我ヲ圍ミ我ヲ環レモ我主ノ名ヲ以テ之ヲ敗レ
 リ

第三句我死セズ猶生キテ主ノ行フ所ヲ傳ヘン
 第四句工師ガ棄テシ所ノ石ハ屋隅ノ首石トナレリ是レ主
 ノナス所ニシテ我等ノ目ニ奇異ナリトス
 毎句ノ後詠隊主ハ神ナリ我等ヲ照ラセリ云々「ヲ歌フ
 畢テ後本祭日或ハ本日聖人ノ讚詞或ハ本主日ノ復活讚詞
 ナ歌フ「二次嗣テ同調ニ依テ生神女讚詞ヲ歌フ
 若ズリルイヤアル時或ハ大四句齋ニハ「主ハ神ナリ我等ヲ
 照セリ云々」ニ易ヘテ本調ニ依テ「アリルイヤ」ヲ歌フ「三次
 是ノ時左ノ句ヲ誦ス
 第一句我夜中我が靈ニテ爾ヲ慕ヘリ晨ヨリ我が中心ニテ

補祭

爾ヲ尋チン
 第二句爾ノ審判ガ地ニ行ハル、時世ニ居ル者ハ義ヲ學ブ
 第三句火ハ爾ノ敵ヲ嚙ントス
 第四句主ヤ爾己ニ民ヲ増シ爾己ニ民ヲ増シ爾曾テ己ノ光
 榮ヲ顯ハセリ
 嗣テ本調ニ依テ聖三讚詞ヲ歌フ「各一次
 次ニ聖詠經中誦スベキ坐誦經順序ノ坐誦讚詞第五十聖詠
 規程ヲ誦ス
 規程ノ第九歌頌ノ前至聖生神女ノ歌詠ヲ歌フ「左ノ如シ
 生神女光ノ母ヲ讚歌ヲ以テ讚揚ゲン

詠隊

マクニフア

時課經 早課

七十四

我ガ心ハ主ヲ崇メ我ガ靈ハ神我ガ救主ヲ喜ブ
 其婢ノ卑微ヲ願ミ給ヘリ今ヨリ萬世我ヲ福ナリト謂ハン
 權能ヲ有テ給ヘル者ハ我ガ爲ニ大ナル事ヲ成セリ其名ハ
 聖ナリ其憐ハ世々彼ヲ畏ル、者ニ臨マン
 其臂ノ力ヲ顯ハシテ心ノ驕レル者ヲ散ラシ給ヘリ
 權アル者ヲ位ヨリ黜ケ卑微キ者ヲ陟ゲ饑ウル者ヲ善ニ飽
 カセ富メル者ヲ空ク返ラセ給ヘリ
 其僕イブライリヲ納レテ我ガ先祖ニ告ゲシガ如クアウラ
 アムト其裔ヲ世々ニ憐ムトテ記憶シ給ヘリ
 右毎句ノ後左ノ讚歌ヲ歌フ

ヘルヲムヨリ尊クセラフムニ並ビナク榮エ貞操ヲ壞ラズ
 シテ神言ヲ生ミシ實ノ生神女タル爾ヲ崇讚ム
 嗣テ規程ノ第九歌頌ヲ歌フ
 主日ニ非ザレバ規程ノ後左ノ讚歌ヲ歌フ
 常ニ福ニシテ全ク玷ナキ生神女吾ガ神ノ母ナル爾ヲ福ナ
 リト稱フルハ眞ニ當レリヘルヲムヨリ尊クセラフムニ並
 ビナク榮エ貞操ヲ壞ラズシテ神言ヲ生ミシ實ノ生神女タ
 ル爾ヲ崇讚ム
 主日或ハ多油祭ニハ第九歌頌ノ後小聯禱アリ嗣テ補祭誦
 シテ曰ク

時課經 早課

七十五

主我等ノ神ハ聖ナリ
詠隊亦之ヲ歌フ

第一句主ハシオンニ於テ大ナリ

第二句主ハ高ク衆民ノ上ニ在リ

毎句ノ後詠隊右ノ「主我等ノ神ハ聖ナリ」ヲ歌フ畢テ後差遣
詞ヲ誦ス

大四句齋ニハ本調ニ依テ光耀歌ヲ誦ス大四句齋ニアラザ

レバ本日ノ差遣詞ヲ誦シ次テ主ノ讚揚歌ヲ歌フ

主日或ハ主宰ノ祭日或ハ大詠頌ヲ歌フベキ聖人ノ祭日ニ
ハ本調ニ依テ主ノ讚揚歌ヲ歌フ左ノ如シ

右
隊列

凡ソ呼吸アル者ハ主ヲ讚揚ゲヨ

天ヨリ主ヲ讚揚ゲヨ至高キニ彼ヲ讚揚ゲヨ

讚歌ハ爾神ニ歸ス

他日ニハ歌フ左ノ如シ

天ヨリ主ヲ讚揚ゲヨ

讚歌ハ爾神ニ歸ス

第四百四十八聖詠

天ヨリ主ヲ讚揚ゲヨ至高キニ彼ヲ讚揚ゲヨ

讚歌ハ爾神ニ歸ス

其悉ノ神使ヤ彼ヲ讚揚ゲヨ其悉ノ軍ヤ彼ヲ讚揚ゲヨ

左
隊列

讚歌ハ爾神ニ歸ス
 日ト月ヤ彼ヲ讚揚ゲヨ悉ノ光ル星ヤ彼ヲ讚揚ゲヨ諸天ノ
 天ト天ヨリ上ナル水ヤ彼ヲ讚揚ゲヨ主ノ名ヲ讚揚ゲベシ
 蓋彼言フテ即成リ命シテ即造クラレタリ彼ハ之ヲ立テ、
 世々ニ至ラシメ法ヲ與ヘテ過ギザラシメン地ヨリ主ヲ讚
 揚ゲヨ大魚ト悉ノ淵火ト霰雪ト霧主ノ言ニ從フノ暴風山
 ト悉ノ陵果ノ樹ト悉ノ柏香木野獸ト諸ノ家畜匍フ物ト飛
 ブ鳥地ノ諸王ト萬民牧伯ト地ノ諸有司少年ト處女翁ト童
 ハ主ノ名ヲ讚揚ゲベシ蓋惟其名ハ高ク舉ゲラレ其光榮ハ
 天地ニ徧シ彼ハ其民ノ角ヲ高ウシ其諸聖人イズライリノ

諸子彼ニ親キ民ノ榮ヲ高ウセリ

第四百十九聖詠

新ナル歌ヲ主ニ歌ヘヨ其讚美ハ聖者ノ會ニ在リイズライ
 リハ己ヲ造リシ者ノ爲ニ樂ムベシオンノ子ハ己ノ王ノ
 爲ニ喜ブベシ舞ヲ以テ彼ノ名ヲ讚揚ゲ鼓ト琴ヲ以テ彼ニ
 歌フヘシ蓋主ハ其民ヲ惠ミ救ヒテ己ヲ卑ウスル者ヲ
 榮エシム諸聖人ハ光榮ニ在テ祝ヒ其榻ニ在テ歡ブベシ其
 口ニハ神ノ讚榮アリ其手ニハ兩刃ノ劍アリテ仇ヲ諸民ニ
 報イ罰ヲ諸族ニ行ヒ其諸王ヲ索ニ縛リ其諸侯ヲ鍔鎖ニ繫
 ギ彼等ノ爲ニ記サレシ審判ヲ行フベシ斯ノ榮ハ其悉ノ聖

人ニ在リ

第一百五十聖詠

左ノ六節ハ六讚頌ノ時ニ併セ誦ス

神ヲ其聖所ニ讚揚ゲヨ 彼ヲ其有力ノ穹蒼ニ讚揚ゲヨ 其權

能ニ依テ彼ヲ讚揚ゲヨ 其至ト嚴カナルニ依テ彼ヲ讚揚ゲ

ヨ 左ハ四讚頌ノ時

角ノ聲ヲ以テ彼ヲ讚揚ゲヨ 琴ト瑟ヲ以テ彼ヲ讚揚ゲヨ 鼓

ト舞ヲ以テ彼ヲ讚揚ゲヨ 絃ト簫ヲ以テ彼ヲ讚揚ゲヨ 和聲

ノ鉦ヲ以テ彼ヲ讚揚ゲヨ 大聲ノ鉦ヲ以テ彼ヲ讚揚ゲヨ 凡

ソ呼吸アル者ハ主ヲ讚揚ゲヨ

主日ニハ讚頌ノ後光榮云々福音讚頌ヲ誦ス

今モ云々生神女讚詞ヲ歌フテ左ノ如シ

生神童貞女ヤ爾ハ至テ讚美タル者ナリ 爾ニ身ヲ取リシ主

ハ地獄ヲ撈ニシテダムヲ呼起シ 詛ヒテ壞リエワテ釋シ 死

ヲ亡シ 我等ヲ生カセリ 故ニ我等歌フテ呼ブ 此ク行ヒ給ヒ

シハリストス 神ハ崇讚メラル 光榮ハ爾ニ歸ス

光榮ハ爾我等ニ光ヲ顯セル主ニ歸ス

至高ニハ光榮神ニ歸シ 地ニハ平安降り 人ニ惠ハ臨メリ 主

天ノ王 神父 全能者ヤ 主 獨生ノ子 イイススハリストス 及ビ

司祭

詠隊

聖神ヤ爾ノ大ナル光榮ニ因テ我等爾ヲ崇メ爾ヲ讚揚ゲ爾
 ナ伏拜ミ爾ヲ尊歌ヒ爾ニ感謝ス主神ヤ神ノ羔父ノ子世ノ
 罪ヲ荷ヒシ者ヤ我等ヲ憐ミ給ヘ世ノ諸ノ罪ヲ荷ヒシ者ヤ
 我等ノ禱ヲ納レ給ヘ父ノ右ニ坐スル者ヤ我等ヲ憐ミ給ヘ
 爾ハ獨聖ナリ爾ハ獨主イイススハリストス神父ノ光榮ヲ
 顯ス者ナレバナリ「アミン」
 我日々ニ爾ヲ讚揚ゲ爾ノ名ヲ世々ニ崇歌ハン
 主ヤ我等ヲ守リ罪ナクシテ此ノ日ヲ渡ラセ給ヘ主我が先
 祖ノ神ヤ爾ハ崇讚ラレ爾ノ名ハ世々ニ尊ミ歌ハル「アミン」
 主ヤ爾ヲ恃ムニ因テ爾ノ憐ヲ我等ニ垂レ給ヘ

主ヤ爾ハ崇讚ラル爾ノ誠ヲ我ニ訓ヘ給ヘ三次
 主ヤ爾ハ世々我等ノ避所タリ我曾テ言ヘリ主ヤ我ヲ憐ミ
 我が靈ヲ愈シ給ヘ我罪ヲ爾ニ得レバナリ
 主ヤ爾ニ趨附ク爾ノ旨ヲ行フヲ我ニ教ヘ給ヘ爾ハ我ノ神
 生命ノ源ハ爾ニ在レバナリ我等爾ノ光ニ於テ光ヲ見ン憐
 ヲ爾ヲ知ル者ニ恒ニ垂レ給ヘ
 聖ナル神聖ナル勇毅聖ナル常生ノ者ヤ我等ヲ憐メヨ三次
 光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス今モ何時モ世々ニ「アミン」
 聖ナル常生ノ者ヤ我等ヲ憐メヨ
 爾聲聖ナル神聖ナル勇毅聖ナル常生ノ者ヤ我等ヲ憐メヨ

大詠頌畢テ本日ノ發放讚詞及ビ生神女讚詞ヲ誦ス主日ニ
 ハ主日ノ讚詞ヲ誦ス第一三五七ノ調ノ主日ニハ左ノ如シ
 今救ヒハ世界ニ及ベリ我等墓ヨリ復活シテ吾ガ生命ノ首
 トナルソ主ニ歌フ其死ニテ死ヲ亡シ我等ニ勝利ト大ナル
 慈憐ヲ賜ヘバナリ
 第二四六八ノ調ノ主日ニハ左ノ如シ
 主ヤ爾ハ墓ヨリ復活シテ地獄ノ鎖ヲ破リ死ノ罰ヲ亡シ衆
 人ヲ敵ノ網ヨリ救ヘリ獨大慈憐ナル者ヤ爾ハ使徒ニ顯レ
 テ彼等ヲ傳教ニ遣シ彼等ニ依テ爾ノ平安ヲ世界ニ賜ヘリ
 大四句齋或ハ他ノ大詠頌ナキ日ニハ主ノ讚揚歌畢テ後誦

讀經

スルコ左ノ如シ
 光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス今モ何時モ世々ニアミン
 主我等ノ神ヤ光榮ハ爾ニ歸ス我等光榮ヲ爾父ト子ト聖神
 ニ獻ズ今モ何時モ世々ニアミン
 光榮ハ爾我等ニ光ヲ顯ハセル主ニ歸ス
 至高ニハ光榮神ニ歸シ地ニハ平安降り人ニ惠ハ臨メリ主
 天ノ王神父全能者ヤ主獨生ノ子イイススハリストス及ビ
 聖神ヤ爾ノ大ナル光榮ニ因テ我等爾ヲ崇メ爾ヲ讚揚ゲ爾
 ナ伏拜ミ爾ヲ尊歌ヒ爾ニ感謝ス主神ヤ神ノ羔父ノ子世ノ
 罪ヲ荷ヒシ者ヤ我等ヲ憐ミ給ヘ世ノ諸ノ罪ヲ荷ヒシ者ヤ

我等ノ禱ヲ納レ給ヘ父ノ右ニ坐スル者ヤ我等ヲ憐ミ給ヘ
 爾ハ獨聖ナリ爾ハ獨主イイススハリストス神父ノ光榮ヲ
 顯ス者ナレバナリアミン」
 我日々ニ爾ヲ讚揚ゲ爾ノ名ヲ世々ニ崇歌ハン主ヤ爾ハ世
 々我等ノ避所タリ我曾テ言ヘリ主ヤ我ヲ憐ミ我が靈ヲ愈
 シ給ヘ我罪ヲ爾ニ得レバナリ主ヤ爾ニ趨附ク爾ノ旨ヲ行
 フヲ我ニ教ヘ給ヘ爾ハ我ノ神生命ノ源ハ爾ニ在リナリ我
 等爾ノ光ニ於テ光ヲ見ン憐ヲ爾ヲ知ル者ニ恒ニ垂レ給ヘ」
 主ヤ我等ヲ守リ罪ナクシテ此ノ日ヲ渡ラセ給ヘ主吾ガ先
 祖ノ神ヤ爾ハ崇讚ラレ爾ノ名ハ世々ニ尊ミ歌ハルアミン」

補祭

讀經

主ヤ爾ヲ恃ムニ因テ爾ノ憐ヲ我等ニ垂レ給ヘ主ヤ爾ハ崇
 讚ラル爾ノ誠ヲ我ニ訓ヘ給ヘ主宰ヤ爾ハ崇讚ラル爾ノ誠
 ナ我ニ悟ラセ給ヘ聖ナル者ヤ爾ハ崇讚ラル爾ノ誠ニテ我
 ナ照ラシ給ヘ主ヤ爾ノ憐ハ世々ニ在リ爾ノ手ノ造リシ物
 ナ輕ンズル勿レ讚レバ爾ニ歸シ歌ハ爾ニ歸シ光榮ハ爾父
 ト子ト聖神ニ歸ス今モ何時モ世々ニアミン」
 我等ノ朝ノ禱ヲ増シテ主ニ獻ラン云々
 祭日ニ非ザレバ八調經ノ挿句讚頌ヲ誦ス其句左ノ如シ
 第一句主ヤ夙ニ爾ノ憐ヲ以テ我等ニ飽カシメヨ然セバ我
 等生涯歡ビ樂マン爾曾テ我等ヲ撲ツノ日ト我等ガ禍ニ遭

司祭

ヒシ年ニ代ヘテ我等ヲ樂マシメ給ヘ願ハ爾ノ行フ所ハ爾ノ諸僕ニ著レ爾ノ光榮ハ其諸子ニ著レン

第二句願ハ主吾ガ神ノ惠ハ我等ニ在ラン願ハ我ガ手ノ工作ヲ我等ニ佑ケ給ヘ我ガ手ノ工作ヲ佑ケ給ヘ

若光榮云々今モ云々ノ讚頌アレバ之ヲ誦ス嗣テ誦スル

左ノ如シ

至上者ヤ主ヲ讚榮シ爾ノ名ニ歌ヒ爾ノ憐ヲ朝ニ宣ヘ爾ノ眞ヲ夜ニ宣ブルハ美ナル哉

聖三祝文 至聖三者 主經

蓋國ト權能云々

讀經

本日ノ讚詞 光榮云々今モ云々 生神女讚詞

聯禱

補祭

神ヤ爾ノ大ナル憐ニ因テ我等ヲ憐ミ云々

讀經

大四旬齋ニハ誦スルヲ左ノ如シ

至上者ヤ主ヲ讚榮シ爾ノ名ニ歌ヒ云々ニ次

司祭

聖三祝文 至聖三者 主經

蓋國ト權能云々

讀經

生神女天ノ門ヤ我等爾ガ光榮ノ堂ニ立ツニ意ハ天ニ立ツガ如シ祈ル我等ノ爲ニ爾ガ憐ノ門ヲ開キ給ヘ

主憐メヨ 四十次

司祭

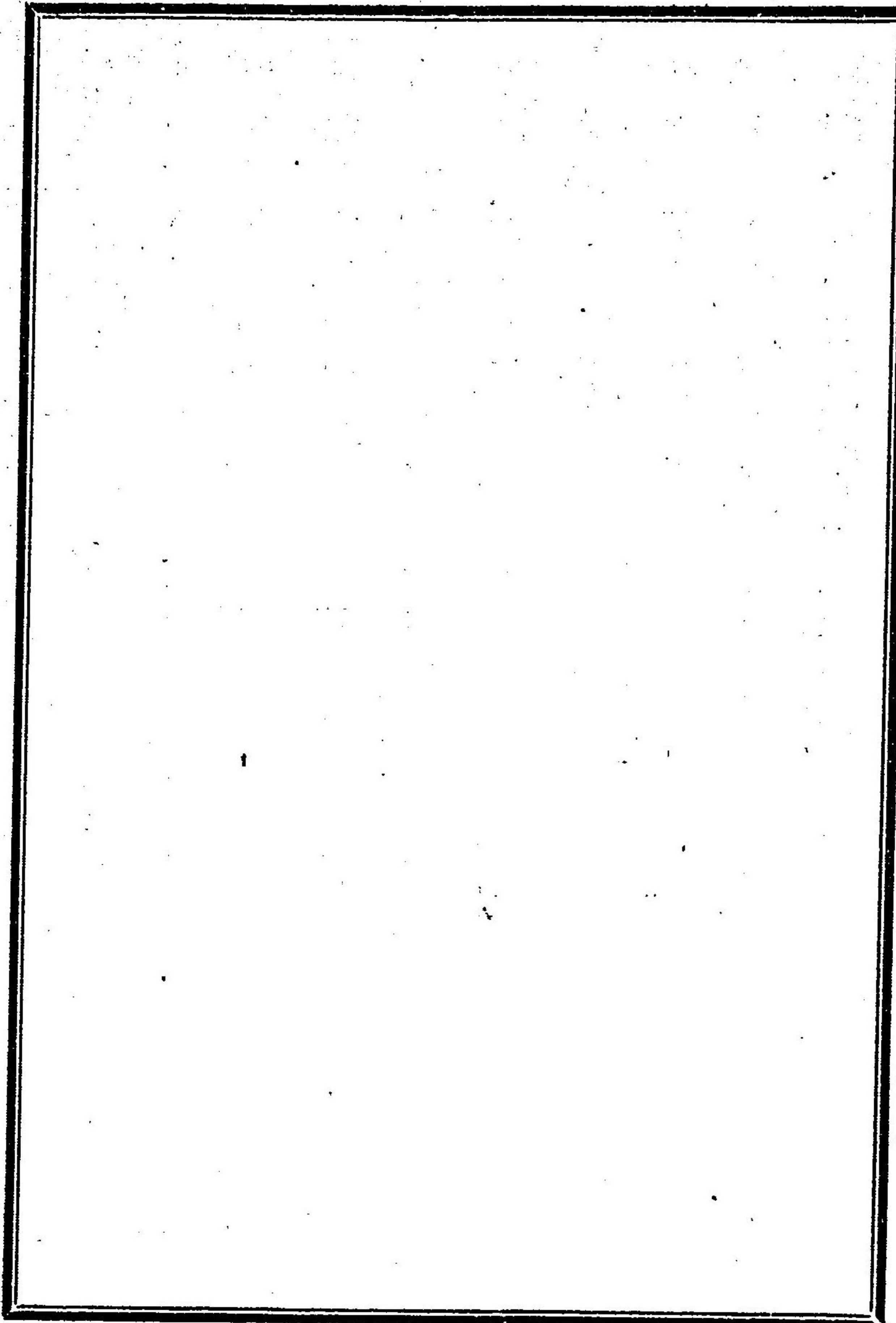
讀經

光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス今モ何時モ世々ニ「アミン」
 ヘルワムヨリ尊クセラフムニ並ナク榮エ貞操ヲ壞ラズシ
 テ神言ヲ生ミシ實ノ生神女タル爾ヲ崇讚ム
 神父ヤ主ノ名ヲ以テ福ヲ降セ
 ハリストス我等ノ神ハ崇讚メラル今モ何時モ世々ニ
 「アミン」
 天ノ王ヤ我等ノ皇帝(某)ヲ佑ケ正教ヲ固メ異教ヲ循セ世界
 ナ穩カニシ克ク此ノ聖堂ヲ護リ己ニ過去リシ我等ノ諸父
 兄弟ヲ義人ノ住所ニ置キ並ニ我等ノ痛悔ト承認ヲ納レ給
 ヘ爾ハ仁慈ニシテ人ヲ愛スルノ主ナレバナリ

司祭

聖エフレムノ祝文

主吾ガ生命ノ主宰ヤ怠惰ト愁悶ト陵駕ト空談ノ情ヲ我ニ
 與フル勿レ 叩拜一次
 貞潔ト謙遜ト忍耐ト愛ノ情ヲ我爾ノ僕ニ與ヘ給ヘ 叩拜一
 嗚呼主王ヤ我ニ我ガ罪ヲ見我ガ兄弟ヲ議セザルヲ賜ヘヨ
 蓋爾ハ世々ニ崇讚メラル「アミン」 叩拜一次
 又躬拜スル十二次每次默誦シテ曰ク
 神ヤ我罪人ヲ淨メ給ヘ
 後再前ノ祝文主吾ガ生命ノ主宰云々ノ三段ヲ連誦シ畢テ
 叩拜スル一次嗣テ第一時課ヲ誦ス



第一時課

來レ我等ノ王神ニ叩拜セン 叩拜一次

來レハリストス我等ノ王神ニ叩拜俯伏セン 叩拜一次

來レハリストス我等ノ王ト神ノ前ニ叩拜俯伏セン 叩拜一次

第五聖詠

主ヤ我が言ヲ聽キ我が思ヲ悟レヨ吾ガ王吾ガ神ヤ我が籟
ブ聲ヲ聆納レ給ヘ我爾ニ禱レバナリ主ヤ晨ニ我が聲ヲ聽
キ給ヘ我晨ニ爾ノ前ニ立テ待タン蓋爾ハ不法ヲ喜バザ
ル神ナリ惡人ハ爾ニ居ルヲ得ズ不虔ノ者ハ爾ガ目ノ前ニ

止マラザラン爾ハ凡ソ不法ヲ行フ者ヲ憎ム爾ハ誑ヲ言フ者ヲ亡サン殘忍詭譎ノ者ハ主之ヲ惡ム唯我爾ガ憐ノ多キニ倚テ爾ノ家ニ入り爾ヲ畏レテ爾ガ聖堂ニ伏拜セン主ヤ我ガ敵ノ爲ニ我ヲ爾ノ義ニ導キ我ガ前ニ爾ノ道ヲ平カニセヨ蓋彼等ノ口ニハ眞實ナク彼等ノ心ハ惡逆彼等ノ喉ハ開ケシ極其舌ニテ媚語フ神ヤ彼等ノ罪ヲ定メ彼等ニ其謀ヲ以テ自敗レシメ彼等ガ不虔ノ甚キニ依テ之ヲ逐ヒ給ヘ彼等爾ニ逆ラヘバナリ凡ソ爾ヲ頼ム者ハ喜ビテ永ク樂ミ爾ハ彼等ヲ庇護ラン爾ノ名ヲ愛スル者ハ爾ヲ以テ自認ラントス蓋主ヤ爾ハ義人ニ福ヲ降シ惠ヲ以テ肩ノ如ク之ヲ

環ラシ衛レバナリ

第八十九聖詠

主ヤ爾ハ世々我等ノ避所タリ山未ダ生ゼス爾未ダ地ト全世界ヲ造ラザルノ先且世ヨリ世マデモ爾ハ神ナリ爾人ヲ塵ニ歸ラシメ乃日フ人ノ子ヤ歸レヨト蓋爾ガ目ノ前ニ千年ハ過シ昨日ノ如ク夜間ノ更ノ如シ爾ハ大水ノ如ク彼等ヲ流ス彼等ハ夢ノ如ク朝ニ生フル草ノ如シ朝ニハ花サキテ青ク暮ニハ刈ラレテ稿ル蓋我等ハ爾ノ怒ニ因テ消エ爾ノ憤ニ因テ驚惶ル爾ハ我等ノ不法ヲ爾ノ前ニ置キ我等ノ隠レタル事ヲ爾ガ顔ノ光ノ前ニ置ケリ我等ガ悉ノ日ハ爾

ガ怒ノ中ニ逝キ我等ハ我が歳ヲ矢フ音ノ如シ我が歳ノ
 數ハ七十年或ハ健カナレバ八十年ナリ其間壯ナル時モ劬
 勞ト疾病アリ蓋其過グル速ニシテ我等乃飛去ル誰カ爾
 ガ怒ノ力ヲ知り又爾ヲ畏ル、ノ度ニ依テ爾ノ憤ヲ識ラン
 ヤ願ハ我等ニ我が日ヲ計ルヲ教ヘテ智慧ノ心ヲ獲セシ
 メ給ヘ主ヤ面ヲ回ヘセヨ何ノ時ニ至ルヤ爾ノ僕ヲ憐ミ給
 ヘ夙ニ爾ノ憐ヲ以テ我等ニ飽カシメヨ然セバ我等生涯歡
 ビ樂マン爾曾テ我等ヲ撰ノ日ト我等ガ禍ニ遭ヒシ年ニ代
 ヘテ我等ヲ樂マシメ給ヘ願ハ爾ノ行フ所ハ爾ノ諸僕ニ著
 ハレ爾ノ光榮ハ其諸子ニ著レン願ハ主吾ガ神ノ惠ハ我等

ニ在ラン願ハ我が手ノ工作ヲ我等ニ佑ケ給ヘ我が手ノ工
 作ヲ助ケ給ヘ

第百聖詠

我憐ト審判ヲ歌ハン主ヤ爾ニ歌ヲ奉ラン我玷ナキ道ヲ思
 ハン爾何ノ時我ニ至ルヤ我玷ナキ心ヲ以テ我が家ノ中ニ
 行カン我が目ノ前ニハ邪ナル物ヲ置カザラン法ニ背クノ
 行ハ我之ヲ疾ム其レ必ズ我ニ附カザラン壞レシ心ハ我ニ
 遠ザカリ惡キ者ハ我之ヲ識ラザラン隱ニ已ノ隣ヲ謗ル者
 ハ我之ヲ逐ヒ目傲リ心高ブル者ハ我之ヲ容レザラン我が
 目ハ斯ノ地ノ忠信アル者ヲ願ミ彼等ヲ我が傍ニ居ラシメ

ントス玷ナキ路ヲ行ク者ハ我ニ事ヘン貳心ヲ行フ者ハ我
ガ家ニ居ルヲ得ズ謊ヲ言フ者ハ我ガ目ノ前ニ止ラザラン
晨ニ我此ノ地ノ悉ノ不虔者ヲ滅シ凡不法ヲ行フ者ヲ主ノ
城邑ヨリ絶レシメントス

光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス今モ何時モ世々ニ「アミン」
「アリルイヤ」「アリルイヤ」神ヤ光榮ハ爾ニ歸ス
主憐メヨ 三次

若主ハ神ナリ我等ヲ照セリ云々」ヲ歌フ時ハ誦スルヲ左ノ
如シ

光榮云々

本日讚詞

今モ云々

嗚呼恩寵ニ満タサル、者ヤ云々

若「アリルイヤ」ヲ歌フ時ハ左ノ讚詞ヲ誦ス第六ノ調ニ依ル

吾ガ王吾ガ神ヤ晨ニ我ガ聲ヲ聽キ給ヘ

第一句主ヤ我が言ヲ聽キ我が思ヲ悟レヨ

第二句主ヤ我爾ニ禱レバナリ

光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス今モ何時モ世々ニ「アミン」

生神女讚詞

嗚呼恩寵ニ満タサル、者ヤ我等何ヲ以テ爾ヲ稱センカ天
トセン爾ハ義ノ日ヲ照セバナリ樂園トセン爾ハ枯レザル
花ヲ開ケバナリ童貞女トセン爾ハ貞操ヲ壞ラザレバナリ

司祭

淨キ母トセン爾ハ聖ナル懷ニ萬物ノ神タル子ヲ抱ケバナ
 リ彼ニ我等ノ靈ノ救ハル、ヲ祈リ給ヘ
 我が足ヲ爾ノ言ニ固メ給ヘ諸ノ不法ノ我ヲ制スルヲ許ス
 勿レ我ヲ人ノ迫害ヨリ救ヒ給ヘ然セバ我爾ノ命ヲ守ラン
 爾ガ顔ノ光ニテ爾ノ僕ヲ照シ爾ノ律ヲ我ニ誨ヘ給ヘ
 主ヤ願ハ我ガ口ハ讚美ニ滿テラレ我ニ爾ノ光榮ヲ歌ヒ日
 々ニ爾ノ威嚴ヲ歌ハシメ給ヘ
 右二段ヲ大四旬齋ニ用フルノ法ハ三歌齋經ニ録ス
 聖三祝文 至聖三者 主經
 蓋國ト權能云々

讀經

大四旬齋ニ非ザレバ本日聖人或ハ本祭日ノ小讚詞ヲ誦ス
 若大四旬齋ニ値リ或ハ小讚詞アラザレバ月火木三曜日ニ
 左ノ生神女讚詞ヲ誦ス
 我等默サズ心ト口ニテ聖ナル神使ヨリモ聖ニシテ至テ光
 榮ナル神ノ母ヲ歌ヒ之ヲ承認テ生神女トナス其實ニ人體
 ヲ取リシ神ヲ生ミテ恒ニ我等ノ靈ノ爲ニ禱リ給ヘバナリ
 水金兩曜日ニハ左ノ生神女讚詞ヲ誦ス
 ハリストス吾ガ神ヤ疾ク先ンシテ爾ヲ誹リ我等ヲ阻メル
 敵ノ我等ヲ擄ニスルヲ許ス勿レ獨人ヲ愛スルノ主ヤ爾ノ
 十字架ヲ以テ我等ト戰フ敵ヲ亡シ彼等ニ正教ノ者ノ信ハ

生神女ノ祈禱ニ依テ如何ナル能アルヲ悟ラセ給ヘ
 「スボタ」ニハ左ノ小讃詞ヲ誦ス
 主ヤ全世界ハ捧神ナル致命者ヲ萬物ノ初實トシテ爾萬物
 ナ植附ケシ者ニ奉ル大仁慈ナル者ヤ彼等ト生神女ノ祈禱
 ニ依テ爾ノ住所ナル爾ノ教會ヲ深キ平安ニ守リ給ヘ
 主憐メヨ四十次
 何ノ日何ノ時天ニモ地ニモ叩拜讚榮セラレ寛忍鴻慈至善
 ニシテ義人ヲ愛シ罪人ヲ憐ミ來世ノ福ヲ約シテ萬ノ者ヲ
 救ヒニ招クハリストス神ヤ爾主ヤ自我ガ此ノ時ノ禱ヲモ
 受ケ我等ノ生命ヲ爾ノ誠ニ向ハシメ給ヘ我等ノ靈ヲ聖ニ

司祭

シ體ヲ潔クシ慮ヲ直クシ思ヒヲ淨クシ我等ヲ悉ノ憂ト禍
 ト疾ヨリ救ヒ爾ノ聖ナル神使ヲ以テ我等ヲ環リ我等ガ其
 ノ圍ニ衛リ導カレテ信ノ一ナルト爾ノ近ヅキ難キ光榮ヲ
 悟ルニ至ラセ給ヘ蓋爾ハ世々ニ崇讚メラル「アミン」
 主憐メヨ三次
 光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス今モ何時モ世々ニ「アミン」
 ヘルワムヨリ尊クセラフムニ並ビナク榮エ貞操ヲ壞ラズ
 シテ神言ヲ生ミシ實ノ生神女タル爾ヲ崇讚ム
 神父ヤ主ノ名ヲ以テ福ヲ降セ
 神ヤ我等ニ恩ヲ被ラシ我等ニ福ヲ降シ爾ガ顔ヲ以テ我等

讀經

ヲ照シ並ニ我等ヲ憐ミ給ヘ

大四旬齋ニハ聖エフレムノ主吾ガ生命ノ主宰ヤ云々ノ祝

文ヲ誦シ叩拜スルヲ三次嗣テ躬拜十二次畢テ後右ノ祝文

三段ヲ連誦シテ叩拜スル一次九十一葉

聖三祝文 至聖三者 主經

主憐メヨ 十二次

祝文

眞ノ光ナルハリストス凡ソ世ニ來ル人ヲ照シ且ツ聖ニス
ル者ヤ願ハ爾ガ顔ノ光ハ我等ニ輝キ我等ハ是ニ依テ近ツ
キ難キ光ヲ見ルヲ得ン願ハ爾ガ至淨ノ母ト爾ガ諸聖人ノ

祈禱ニ依テ我等ノ足ヲ爾ノ戒ヲ行フニ向ハシメ給ヘ「アミ
ン」

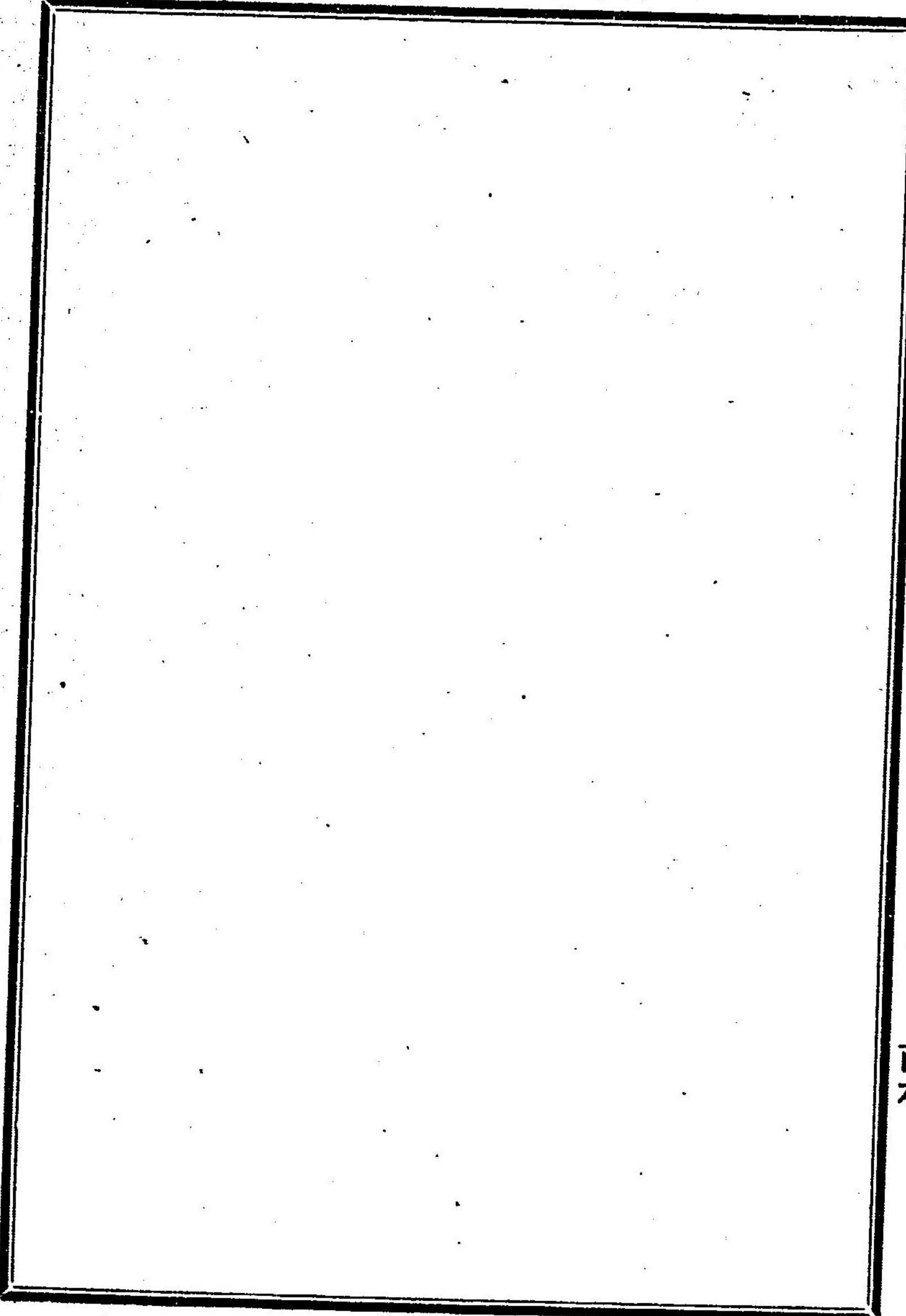
光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス今モ何時モ世々「アミン」

主憐メヨ 三次 福ヲ降セ

司祭發放詞ヲ誦ス

生神女小讚詞

生神女ヤ我等爾ノ僕婢ハ禍ヨリ援ケラレシヲ以テ爾克ク
勝ツノ將師ニ凱歌ト感謝ヲ奉ル勝タレヌ權能ヲ有ツニ依
テ我等ヲ諸ノ苦難ヨリ救ヒ爾ヲ歌フテ嫁ナラヌ嫁ヤ慶ベ
ヨト呼バシメ給ヘ



第三時課

司祭

請經

我等ノ神ハ崇讃ラル今モ何時モ世々ニ
「アミン」

我等ノ神ヤ光榮ハ爾ニ歸ス光榮ハ爾ニ歸ス
天ノ王慰ル者ヤ眞實ノ神在ラザル所ナキ者滿タザル所ナ
キ者ヤ萬善ノ寶藏ナル者生命ヲ賜フノ主ヤ來リテ我等ノ
中ニ居リ我等ヲ諸ノ穢ヨリ潔クセヨ至善者ヤ我等ノ靈ヲ
救ヒ給ヘ
聖ナル神聖ナル勇毅聖ナル常生ノ者ヤ我等ヲ憐メヨ 三次

光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス今モ何時モ世々ニ「アミン」
 至聖三者ヤ我等ヲ憐メヨ主ヤ我等ノ罪ヲ潔クセヨ主宰ヤ
 我等ノ愆ヲ赦セ聖ナル者ヤ臨テ我等ノ病ヲ癒シ給ヘ悉ク
 爾ノ名ニ因ル
 主憐メヨ 三次

光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス今モ何時モ世々ニ「アミン」
 天ニ在ス我等ノ父ヤ願ハ爾ノ名ハ聖トセラレ爾ノ國ハ來
 リ爾ノ旨ハ天ニ行ル、ガ如ク地ニモ行ハレン我が日用ノ
 糧ヲ今日我等ニ與ヘ給ヘ我等ニ債アル者ヲ我等免スガ如
 ク我等ノ債ヲ免シ給ヘ我等ヲ誘ニ導カズ猶我等ヲ凶惡ヨ

司祭

讀經

リ救ヒ給ヘ

蓋國ト權能ト光榮ハ爾ニ世々ニ歸ス

「アミン」十二次

主憐メヨ

光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス今モ何時モ世々ニ「アミン」

來レ我等ノ王神ニ叩拜セン

來レハリストス我等ノ王神ニ叩拜俯伏セン

來レハリストス我等ノ王ト神ノ前ニ叩拜俯伏セン

第十六聖詠

主ヤ我ノ直キヲ聽キ我ノ籲ヲ聆納レ偽ラザル口ヨリ出ル

禱ヲ受ケ給ヘ願ハ我ヲ判クノ判ハ爾ノ顔ヨリ出テ爾ノ目
 ハ義ニ注ガン爾ハ己ニ我が心ヲ驗シ夜中ニ臨ミ我ヲ試ミ
 テ得ル所ナシ我が口ハ我ノ思ニ離レズ人ノ行フ所ニ於テ
 ハ我爾ガ口ノ言ニ循フテ迫害者ノ途ヲ慎メリ我が歩ヲ爾
 ノ路ニ固メヨ我が足ノ蹶カザルガ爲ナリ神ヤ我爾ニ籲ブ
 盖爾我ニ聽カン爾ノ耳ヲ我ニ傾ケテ我が言ヲ聆キ給ヘ爾
 ナ爾憐ヲ顯シ給ヘ我ヲ眸子ノ如ク護レヨ爾ガ翼ノ蔭ニテ
 我ヲ攻ムル不虔者ノ面我ヲ環ル我が靈ノ敵ヨリ我ヲ覆ヒ
 給ヘ彼等ハ己ノ脂ニ包マレ己ノ口ニテ高ブリ言フ今我が

歩ム度ニ我等ヲ環リ目窺フテ地ニ顛サント欲ス彼等ハ獲
 物ヲ貪ル獅ノ如ク隠カナル處ニ蹲ル小獅ノ如シ主ヤ起キ
 ヨ彼等ニ先テ彼等ヲ殪シ爾ノ劍ヲ以テ我が靈ヲ不虔者
 ヨリ救ヘ主ヤ爾ノ手ヲ以テ人即世ノ人ヨリ救ヒ給ヘ彼等
 ノ業ハ今生ニアリ爾ハ爾ノ寶藏ヨリ其ノ腹ヲ充タシ彼等
 ノ子モ墜キテ餘ヲ其ノ裔ニ殘スニ至ラン惟我ハ義ヲ以テ
 爾ノ顔ヲ見ントス覺起キテ爾ノ容ヲ以テ自贖足ラン

第二十四聖詠

主ヤ爾ニ我が靈ヲ擧グ吾ガ神ヤ爾ヲ恃ム我ニ世々愧ナカ
 ラシメヨ我が敵ヲ我ニ勝チテ喜バシムル毋レ凡ソ爾ヲ恃

ム者ニモ愧ナカラシメ給ヘ妄ニ法ヲ犯ス者ハ願ハ愧ヲ得
 シ主ヤ我ニ爾ノ道ヲ示シ我ニ爾ノ路ヲ訓ヘヨ我ヲ爾ノ眞
 理ニ導テ我ヲ訓ヘ給ヘ蓋爾ハ我が救ヒノ神ナリ我日々ニ
 爾ヲ恃メリ主ヤ爾ノ鴻恩ト爾ノ慈憐ヲ記憶セヨ蓋是レ永
 遠ヨリアルナリ我が少キ時ノ罪ト過ヲ記憶スル毋レ主ヤ
 爾ノ仁慈ニ依リ爾ノ慈憐ヲ以テ我ヲ記憶セヨ主ハ仁ナリ
 義ナリ故ニ罪人ニ道ヲ訓示ス謙遜ノ者ヲ義ニ導キ謙遜ノ
 者ニ己ノ道ヲ教フ凡ソ主ノ道ハ其約ト其啓示ヲ守ル者ニ
 在テ慈憐ト眞實ナリ主ヤ爾ノ名ニ因テ我が罪ヲ赦シ給ヘ
 其大ナルヲ以テナリ誰カ主ヲ畏ル、ノ人タル主ハ之ニ擇

ムベキ道ヲ示リン彼ノ靈ハ福ニ居リ彼ノ裔ハ地ヲ嗣ガン
 主ノ奧義ハ彼ヲ畏ル、者ニ屬シ彼ハ其約ヲ以テ彼等ニ顯
 ス我が日常ニ主ヲ仰グ其我が足ヲ網ヨリ出スニ因ル我ヲ
 顧ミ我ヲ憐レメヨ我獨ニシテ苦メラル、ニ因ル我が心ノ
 憂益多シ我が苦難ヨリ我ヲ惹キ出セヨ我が困苦ト我が勞
 瘁ヲ顧ミ我が諸ノ罪ヲ赦シ給ヘ我が敵ヲ觀ヨ何ゾ多キヤ
 彼等が我ヲ怨ムノ恨ハ何ゾ甚シキヤ我が靈ヲ護リテ我ヲ
 救ヒ我が爾ニ於ル恃ニ愧ナカラシメ給ヘ願ハ無玷ト義ト
 ハ我ヲ護ラン蓋我爾ヲ恃メバナリ神ヤイズライリナ其諸
 ノ憂ヨリ救ヒ給ヘ

第五十聖詠

神ヤ爾ノ大ナル憐ニ因テ我ヲ憐ミ爾ガ惠ノ多キニ因テ我
 ノ不法ヲ抹シ給ヘ屢我ヲ我ガ不法ヨリ洗ヒ我ヲ我ガ罪ヨ
 リ清メ給ヘ蓋我ハ我ガ不法ヲ知ル我ノ罪ハ常ニ我ガ前ニ
 在リ我ハ爾獨爾ニ罪ヲ犯シ惡ヲ爾ノ目ノ前ニ行ヘリ爾ハ
 爾ノ審斷ニ義ニシテ爾ノ裁判ニ公ナリ夫我ハ不法ニ於テ
 妊マレ我ガ母ハ罪ニ於テ我ヲ生メリ夫爾ハ心ニ眞實ノア
 ルヲ愛シ我ガ衷ニ於テ智慧ヲ我ニ顯セリ「イソブ」ヲ以テ我
 ニ沃ゲヨ然セバ我深クナラン我ヲ滌ヘヨ然セバ我雪ヨリ
 白クナラン我ニ喜ト樂トナ聞カシ給ヘヨ然セバ爾ニ折ラ

レシ骨ハ欣バン爾ノ顔ヲ我ガ罪ヨリ避ケ我ガ盡クノ不法
 ナ抹シ給ヘ神ヤ清潔キ心ヲ我ニ造リ正直キ靈ヲ我ノ衷ニ
 改メ給ヘ我ヲ爾ノ顔ヨリ逐フコト勿レ爾ノ聖神ヲ我ヨリ
 取上ルコト勿レ爾ガ救ヒノ喜ヲ我ニ還シ主宰タルノ神ヲ以
 テ我ヲ固メ給ヘ我不法ノ者ニ爾ノ道ヲ教ヘン不虔ノ者ハ
 爾ニ歸ラントス神ヤ我ガ救ヒノ神ヤ我ヲ血ヨリ救ヒ給ヘ
 然セバ我ガ舌ハ爾ノ義ヲ讚揚ゲン主ヤ我ガ唇ヲ啓ケヨ然
 セバ我ガ口ハ爾ノ讚美ヲ揚ゲントス蓋爾ハ祭ヲ欲セズ欲
 スレバ我之ヲ獻ラン爾ハ燔祭ヲ喜バズ神ニ喜バル、ノ祭
 ハ痛悔ノ靈ナリ痛悔シテ謙遜ナルノ心ハ神ヤ爾輕シ給ハ

ズ主ヤ爾ノ惠ニ因テ恩ヲシオンニ垂レイエルサリムノ城垣ヲ建テ給ヘ其時ニ爾義ノ祭献物ト燔祭ヲ喜ビ饗ケン其時ニ人々爾ノ祭壇ニ横ヲ奠ヘントス

光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス今モ何時モ世々ニ「アミン」

「アリルイヤ」アリルイヤ「神ヤ光榮ハ爾ニ歸ス」主憐メヨ 三次

若主ハ神ナリ我等ヲ照セリ云々「ヲ歌フ時ハ誦スル」左ノ如シ

光榮云々 本日讚詞

今モ云々 生神女ヤ爾ハ實ノ葡萄ノ枝云々

若アリルイヤ「ヲ歌フ時ハ第六ノ調ニ依テ左ノ讚詞ヲ誦ス

第三時ニ爾ノ至聖神ヲ爾ノ使徒ニ遣ハセシ至善ノ主ヤ之

ヲ我等ヨリ取上ル「勿レ尙我等爾ニ祈ル者ノ衷ニ之ヲ新

ニセヨ 第一句神ヤ清潔キ心ヲ我ニ造リ正直キ靈ヲ我ノ衷ニ改メ

給ヘ 第二句我ヲ爾ノ顔ヨリ逐フ「勿レ爾ノ聖神ヲ我ヨリ取上

ル」勿レ 毎句ノ後第三時ニ於テ爾ノ至聖神云々「ヲ歌フ歌フ毎ニ叩

拜一次

光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス今モ何時モ世々ニ「アミン」

生神女讚詞

生神女ヤ爾ハ實ノ葡萄ノ枝我等ノ爲ニ生命ノ果ヲ結ビシ者ナリ女宰ヤ爾ニ祈ル聖使徒ト共ニ我ガ靈ノ憐ヲ蒙ルコトヲ祈リ給ヘ

主ハ日々ニ崇讚メラル神ハ我等ニ重荷ヲ負ハスレドモ亦々我等ヲ救ヒ給フ神ハ我等ノ爲ニ救ヒノ神ナリ

聖三祝文 至聖三者 主經

本日聖人或ハ祭日ノ小讚詞ヲ誦ス

若齋時ニ値レバ第八ノ調ニ依テ左ノ讚詞ヲ誦ス

崇讚メラル、哉ハリストス吾ガ神ヤ爾ハ漁者ニ聖神ヲ遣ハシテ智者トナシ彼等ヲ以テ世界ヲ漁レリ人ヲ愛スルノ主ヤ光榮ハ爾ニ歸ス

光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス

イイススヤ我ガ靈ノ悶ル時速ニシテ眞ナル慰ヲ爾ノ僕ニ與ヘ給ヘ憂ノ時我ガ靈ヲ離ル、勿レ禍ノ時我ガ心ニ遠ザカル勿レ恒ニ我等ヲ衛リ給ヘ在ラザル所ナキ者ヤ近ツケヨ我等ニ近ツケヨ惠廣キ者ヤ常ニ爾ノ使徒ト偕ニスルガ如ク我等爾ヲ恃ム者ト偕ニシ我等ニ同一ニシテ爾ヲ歌ヒ爾ガ至聖ノ神ヲ讚榮セシメ給ヘ

今モ何時モ世々ニ「アミン」
 至淨ナル生神女ヤ爾ハ「ハリストス」ヲアニン「ノ憑侍ト轉達ナリ
 避所ト壞レザル城ナリ弱リタル者ノ風ナキ湊ナリ讚詠セ
 ラル、童貞女ヤ爾ハ息マザル祈禱ニテ世ヲ救フ者ナルヲ
 以テ我等ヲモ記憶シ給ヘ
 主憐レヨ 四十次
 何ノ日何ノ時天ニモ地ニモ叩拜讚榮セラレ寛忍鴻慈至善
 ニシテ義人ヲ愛シ罪人ヲ憐ミ來世ノ福ヲ約シテ萬ノ者ヲ
 救ヒニ招クハリストス神ヤ爾主ヤ親ヲ我が此ノ時ノ禱ヲ
 モ受ケ我等ノ生命ヲ爾ノ誠ニ向ハシメ給ヘ我等ノ靈ヲ聖

司祭

ニシ体ヲ潔クシ慮ヲ直クシ思ヲ淨クシ我等ヲ悉ノ憂ト禍
 ト疾ヨリ救ヒ爾ノ聖ナル神使ヲ以テ我等ヲ環リ我等ガ其
 圍ニ衛リ導カレテ信ノ一ナルト爾ノ近ヅキ難キ光榮ヲ悟
 ルニ至ラセ給ヘ蓋爾ハ世々ニ崇讚メラル「アミン」
 主憐レヨ 三次
 光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス今モ何時モ世々ニ「アミン」
 ヘルロイムヨリ尊クセラフムニ並ビナク榮エ貞操ヲ壞ラズ
 シテ神言ヲ生ミシ實ノ生神女タル爾ヲ崇讚ム
 神父ヤ主ノ名ヲ以テ福ヲ降セ
 主イエススハリストス我等ノ神ヤ吾ガ諸聖神父ノ祈禱ニ

讀經

依テ我等ヲ憐メヨ「アミン」
 若大四旬齋ナレバ聖エフレムノ祝文ヲ誦シ叩拜ス九十一葉
 嗣デ聖マルダリイノ祝文ヲ誦スルコト左ノ如シ
 主宰神父全能者主獨生ノ子イイススハリストス及ヒ聖神
 惟一ノ神性惟一ノ能力ヤ我罪人ヲ憐ミ爾ガ知ル所ノ法ヲ
 以テ我不當ノ僕ヲ救ヒ給ヘ蓋爾ハ世々ニ崇讃メラル「アミ
 ン」

第六時課

來レ我等ノ王神ニ叩拜セン叩拜一次
 來レハリストス我等ノ王神ニ叩拜俯伏セン叩拜一次
 來レハリストス我等ノ王ト神ノ前ニ叩拜俯伏セン叩拜一次

第五十三聖詠

神ヤ爾ノ名ヲ以テ我ヲ救ヒ爾ノ力ヲ以テ我ヲ判キ給ヘ神
 ヤ我が禱ヲ聽キ我が口ノ言ヲ聆納レ給ヘ蓋外人ハ起テ我
 ナ攻メ強者ハ我が靈ヲ覓ム彼等ハ神ヲ己ノ前ニ置カズ夫
 神ハ我ノ援助ナリ主ハ我が靈ヲ固ム彼ハ我が敵ニ其惡ヲ

報イシ爾ノ眞實ヲ以テ彼等ヲ滅シ給ヘ主ヤ我心ヲ盡シテ
爾ニ祭ヲ獻ゲ爾ノ名ヲ讚揚ゲン其善ナルヲ以テナリ蓋爾
ハ我ヲ諸ノ艱難ヨリ救ヒ給ヘリ我ガ目ハ我ノ敵ヲ見タリ

第五十四聖詠

神ヤ我ガ禱ヲ聆キ我ガ願ヨリ匿ル、毋レ我ニ耳ヲ傾ケテ
我ニ聆キ給ヘ我ハ悲ノ中ニ呻吟ヒ敵ノ聲ト不虔者ノ責ニ
由テ惶擾フ蓋彼等ハ不法ヲ以テ我ヲ誣ヒ怒ヲ以テ我ニ仇
ス我ガ心ハ我ノ衷ニ慄キ死ノ恐惶ハ我ニ及ベリ驚懼ト戰
栗ハ我ニ臨ミ恐惶ハ我ヲ圍メリ我言ヘリ孰カ我ニ鶴ノ翼
ヲ于ルヤ我飛去テ安キヲ獲ン遠ク離レテ野ニ居ラン急テ

旋風ト暴風トヲ避ケン主ヤ彼等ヲ亂シ其舌ヲ分ケヨ蓋我
ハ暴虐ト爭競ヲ城邑ノ中ニ見ル彼等ハ晝夜其城垣ノ上ヲ
繞ル其中ニ毒惡ト患難アリ殘害ハ其中ニアリ詭詐ト誑騙
ハ其衢ヲ離レズ蓋我ヲ誹ル者ハ敵ニ非ズ敵ナラバ我之ヲ
忍バン我ニ高ブル者ハ我ガ仇ニ非ズ仇ナラバ我之ヲ避ケ
ン乃爾曾テ我ト儔キ者我ノ友我ノ近キ者ナリ我ト親キ談
ヲナセシ者ナリ偕ニ神ノ宮ニ行シ者ナリ願ハ死ハ彼等ニ
至ラン願ハ彼等ハ生ナガラ地獄ニ降ラン蓋惡事ハ其住所
ニ其間ニ在レバナリ唯我神ニ籲バン主ハ則我ヲ救ハント
ス晚ト朝ト午ニ我祈リテ呼バン彼乃我ノ聲ヲ聞カントス

我が靈ヲ我ヲ攻ル者ヨリ平安ニ脱レシメン蓋彼等ハ夥ケ
 レバナリ神ハ聽カン世ノ前ヨリ在ス者ハ彼等ヲ卑ウセン
 トス蓋彼等ニ改リナシ彼等ハ神ヲ畏レズ己ノ手ヲ彼等ト
 和睦スルモノニ伸バシ己ノ約ニ背ケリ其口ハ膏ヨリ滑カ
 ニシテ其心ニ仇ヲ懷キ其言ハ油ヨリ柔ニシテ是レ白刃ナ
 リ爾ノ重任ヲ主ニ負ハシメヨ彼ハ爾ヲ扶ケン彼ハ何時モ
 義人ニ搖撼ヲ容サミラン神ヤ爾ハ彼等ヲ滅ビノ阱ニ陷レ
 ン血ヲ流シ貳ヲ行フ者ハ存命ヘテ其生命ノ半ニモ至ルヲ
 得ズ主ヤ唯我爾ヲ頼ム

第九十聖詠

至上者ノ覆ノ下ニ居ル者ハ全能者ノ陰ノ下ニ安ンズ主ニ
 謂フ爾ハ我ノ避所我ノ防禦我ガ頼ム所ノ我ノ神ナリト彼
 ハ爾ヲ獵者ノ網ヨリ滅ノ疫ヨリ脱サン彼ハ其羽ニテ爾ヲ
 覆ハン其翼ノ下ニテ爾危カラザルヲ得ン彼ノ眞實ハ楯ナ
 リ鐵ナリ爾ハ夜ノ震驚ト晝ノ流矢聞冥ニ行ク行疫ト正午
 ニ暴ス瘴疫ヲ懼レズ千人爾ノ側ニ萬人爾ノ右ニ仆ルレモ
 爾ニ近ヅカザラン爾只目ヲ注ギテ不虔ノ者ノ報イヲ見ン
 蓋爾謂ヘリ主ハ我ノ恃ミナリト爾至上者ヲ擇ンテ爾ノ避
 所トセリ惡ハ爾ニ臨マズ疫癘ハ爾ノ住所ニ近ヅカザラン
 蓋爾ノ事ヲ已ノ使ニ命シテ凡ソ爾ノ路ニ爾ヲ護ラシメン

其手ニテ爾ヲ抱ヘ爾ノ足ヲ石ニ蹶カザラシメン爾蝮ト毒
蛇トヲ踐ミ獅ト大蛇トヲ踏マントス彼我ヲ愛スルニ因テ
我之ヲ脱サン彼我ノ名ヲ識ルニ因テ我之ヲ衛ラン我ヲ
救ヘバ我彼ニ聽カン憂ノ時我彼ト偕ニシ彼ヲ脱シ彼ヲ榮セ
ン壽ヲ以テ彼ニ飽カシメ我ノ救ヒヲ彼ニ顯サン

光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス今モ何時モ世々ニ「アミン」

「アリルイヤ」「アリルイヤ」「アリルイヤ」神ヤ光榮ハ爾ニ歸ス

主憐メヨ三次

若主ハ神ナリ我等ヲ照セリ云々」ヲ歌フ時ハ誦スル「左ノ
如シ

光榮云々

本日讚詞

今モ云々

生神童貞女ヤ我等夥シキ罪云々

若「アリルイヤ」ヲ歌フ時ハ第二ノ調ニ依テ左ノ讚詞ヲ誦ス

「アダムガ地堂ニテ犯セシ罪ヲ第六日ノ第六時ニ十字架ニ

釘ツケシハリストス神ヤ我ガ罪ノ書附ヲモ破リテ我等ヲ

救ヒ給ヘ

第一句神ヤ我ガ禱ヲ聆キ我ガ願ヨリ匿ル、母レ

第二句我神ニ籲バン主ハ則我ヲ救ハントス

光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス今モ何時モ世々ニ「アミン」

生神女讚詞

生神童貞女ヤ我等夥シキ罪アリテ己ノ勇ナキニ因リ爾ヨ
 リ生レシ者ニ祈リ給ヘ蓋母ノ禱ハ多ク主宰ノ慈憐チ得ベ
 シ至淨ノ者ヤ罪人ノ祈ヲ輕ズル勿レ我等ノ爲ニ甘ンシテ
 苦ヲ受ケ給ヒシ者ハ仁慈ニシテ人ヲ救フヲテ克スレバナ
 リ
 主ヤ願ハ爾ノ慈憐ハ速ニ我等ヲ迎ヘン我等甚衰ヘタレバ
 ナリ神我等ヲ救フ者ヤ爾ノ名ノ光榮ニ因テ我等ヲ助ケ給
 ヘ爾ノ名ニ因テ我等ヲ救ヒ我等ノ罪ヲ救シ給ヘ
 聖三祝文 至聖三者 主經
 本日聖人ノ小讚詞

齋時ニハ左ノ讚詞ヲ誦ス第二ノ調ニ依ル

ハリストス神ヤ爾ハ地ノ中央ニ救ヒテ施シ爾ガ至淨ノ手
 ナ十字架ニ伸シテ主ヤ光榮ハ爾ニ歸スト呼ベル萬民ヲ集
 メ給ヘリ
 光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス
 仁慈ナルハリストス神ヤ我等爾ガ至淨ノ聖像ニ伏拜シテ
 我が諸罪ノ赦シテ願フ蓋爾ハ其造リシ者ガ敵ニ使ハルハ
 ナ救ハンガ爲ニ甘ンシテ身ニテ十字架ニ升リ給ヘリ故ニ
 我等感謝シテ爾ニ呼ブ世界ヲ救フガ爲ニ來リシ我が救主
 ヤ爾ハ衆人ヲ欣ニ滿テ給ヘリ

今モ何時モ世々ニアミン」
 慈憐ノ泉ナル生神女ヤ我等ニ憐ヲ垂レ罪ナル人ヲ顧ミテ
 恒ノ如ク爾ノ力ヲ顯シ給ヘ蓋我等ハ爾ヲ恃ミ天軍首ガウ
 リイルニ傲フテ爾ニ呼ブ慶ベヤ
 此ノ讚詞ハ月火木三曜日ニ誦ス
 水金兩曜日ニハ慈憐ノ泉ナル生神女ヤ云々ノ代トシテ左
 ノ讚詞ヲ誦ス第二ノ調ニ依ル
 讚榮モラル、生神童貞女ヤ我等爾ヲ歌フ蓋爾ガ子ノ十字
 架ニテ地獄ハ破ラレ死ハ亡サレ殺サレシ者ハ興キテ生命
 ナ得古ニ復リテ地堂ノ福樂ヲ受ケタリ故ニ我等ハリスト

ス吾ガ神ニ感謝シ其權能アリテ獨仁慈ナルヲ讚榮ス
 主憐メヨ 四十六次

何ノ日何ノ時天ニモ地ニモ叩拜讚榮セラレ寛忍鴻慈至善
 ニシテ義人ヲ愛シ罪人ヲ憐ミ來世ノ福ヲ約シテ萬ノ者ヲ
 救ヒニ招クハリストス神ヤ爾主ヤ親ヲ我ガ此ノ時ノ禱ヲ
 モ受ケ我等ノ生命ヲ爾ノ誠ニ向ハシメ給ヘ我等ノ靈ヲ聖
 ニシ躰ヲ潔クシ慮ヲ直クシ思ヲ淨クシ我等ヲ悉ノ憂ト禍
 ト疾ヨリ救ヒ爾ノ聖ナル神使ヲ以テ我等ヲ環リ我等ガ其
 圍ニ衛リ導カレテ信ノ一ナルト爾ノ近ヅキ難キ光榮ヲ悟
 ルニ至ラセ給ヘ蓋爾ハ世々ニ崇讚メラル「アミン」

主憐メヨ 三次

光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス今モ何時モ世々ニ「アミン」

ヘルワムヨリ尊クセラフムニ並ビナク榮エ貞操ヲ壞ラズ

シテ神言ヲ生ミシ實ノ生神女タル爾ヲ崇讃ム

神父ヤ主ノ名ヲ以テ福ヲ降セ

主イエススハリストス我等ノ神ヤ吾ガ諸聖神父ノ祈禱ニ

依テ我等ヲ憐メヨ「アミン」

大四旬齋ニハ聖エフレムノ祝文ヲ誦シ叩拜ス九十一葉ヲ見ユ

聖大ワシリイノ祝文

神天軍ノ主萬物ヲ造リシ者爾ガ量リ難キ仁慈ト慈憐ヲ以

司祭

テ我ガ族ヲ救ハンガ爲ニ爾ノ獨生子吾主イエススハリス

トスヲ遣シ其貴キ十字架ニテ我ガ罪ノ書付ヲ破リ又是テ

以テ闇冥ノ首領ト權柄ニ勝ナシ至仁ナル主宰ヤ我等罪人

ノ感謝ト願ヒノ禱ヲ納レテ諸害ヲナス暗キ罪ト凡ソ我等

ヲ殘ハント欲スル見ユルト見エザル諸敵ヨリ我等ヲ救ヒ

給ヘ我ガ咎ヲ爾ヲ畏ル、ノ畏レニ釘ウチ給ヘ我ガ心ヲ邪

ナル言ト邪ナル思ニ傾カシムル勿レ乃爾ヲ愛スルノ愛テ

以テ我等ノ靈ヲ刺セヨ我等ニ常ニ爾ヲ仰ギ爾ノ光ニ導カ

レテ爾近ソキ難キ永存ノ光ヲ望ミ爾無原ノ父爾ノ獨生ノ

子ト至聖至仁生ヲ施スノ神トニ斷エズ讚詠ト感謝ヲ奉ラ

セ給ヘ今モ何時モ世々ニアミン
若主ハ神ナリ我等ヲ照セリ云々ヲ歌フ時ハ是處ニテ聖體
禮儀代式ヲ誦ス

若アリルイヤヲ歌フ時ハ右代式ヲ第九時課ノ後ニ誦スベ
シ第六時課ニ嗣テ第九時課ヲ誦スルノ順序左ノ如シ

聖三祝文 至聖三者 主經

主憐メヨ 十二次

光榮云々今モ云々

來レ我等ノ王神ニ叩拜セン云々
聖詠以下第九時課ニ錄スルガ如シ

聖體禮儀代式

始テ誦シテ曰ク

我が靈ヤ主ヲ讚揚ゲヨ主ヤ爾ハ崇讚ラル

第一百二聖詠

我が靈ヤ主ヲ讚揚ゲヨ我が中心ヤ其聖ナル名ヲ讚揚ゲヨ
我が靈ヤ主ヲ讚揚ゲヨ彼ガ悉ノ恩ヲ忘ル、毋レ彼ハ爾ガ
諸ノ不法ヲ赦シ爾ガ諸ノ疾ヲ療ス爾ノ生命ヲ慕ヨリ救ヒ
憐ト惠テ爾ニ冠ラシ幸福ヲ爾ノ望ニ飽カシム爾ガ若復サ
ル、ト驚ノ如シ主ハ凡ソ迫害セラル、者ノ爲ニ義ト審判

トナ行フ彼ハ己ノ途ヲモイセイニ示シ己ノ行フ所ヲイズ
 ライリノ子ニ示セリ主ハ宏慈ニシテ矜恤寛忍ニシテ鴻恩
 ナリ怒リテ終アリ憤ヲ永ク懷カズ我が不法ニ因テ我等ニ
 行ハズ我が罪ニ因テ我等ニ報イズ天ノ地ヨリ高キガ如ク
 彼ヲ畏ル、者ニ於ル主ノ憐ハ大ナリ東ノ西ヨリ遠キガ如
 ク主ハ我が不法ヲ我等ヨリ遠ザケリ父ガ其子ヲ憐ムガ如
 ク主ハ之ヲ畏ル、者ヲ憐ム蓋彼ハ我が何ヨリシテ造ラレ
 シヲ知リ我等ノ塵ナルヲ記念ユ人ノ日ハ草ノ如ク其榮ル
 一田ノ華ノ如シ風之ニ過グレバ無キニ歸シ其有リシ處モ
 亦タ之ヲ識ラズ惟主ノ憐ハ之ヲ畏ル、者ニ世ヨリ世ニ至

リ彼ノ義ハ其約ヲ守リ其誠ヲ懷フテ之ヲ行フノ子々孫々
 ニ及バン主ハ其寶座ヲ天ニ建テ其國ハ萬物ヲ統治ム主ノ
 諸ノ神使能力ヲ具ヘ其聲ニ遵テ其言ヲ行フ者ヤ主ヲ讚揚
 ゲヨ主ノ悉ノ軍其旨ヲ行フ役者ヤ主ヲ讚揚ゲヨ凡ソ主ノ
 造ル所ノ者ヤ其一切治ル處ニ於テ主ヲ讚揚ゲヨ我が靈ヤ
 主ヲ讚揚ゲヨ
 光榮云々右列ノ詠隊
 今モ云々左列ノ詠隊
 又右列ノ詠隊歌フ左ノ如シ
 我が靈ヤ主ヲ讚揚ゲヨ我が中心ヤ其聖ナル名ヲ讚揚ゲヨ

主ヤ爾ハ崇讃メラル
光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス

第四百十五聖詠

我ガ靈ヤ主ヲ讃揚ゲヨ我生ケル中主ヲ讃揚ゲン我存命ノ
中吾ガ神ニ歌ハン牧伯ニ倚ル毋レ救フ能ハザル人ノ子ニ
倚ル毋レ彼氣絶レバ土ニ歸リ凡ソ彼ガ謀ル所ハ即日ニ消
ユイヤコフノ神ニ佑ケラル、人ハ福ナリ主神即天地ト海
ト凡ソ其中ニ在ル物ヲ造リ永ク眞實ヲ守リ迫メラル、者
ノ爲ニ判ヲナシ餓ウル者ニ糧ヲ與ルン主ヲ恃ム人ハ福ナ
リ主ハ囚人ヲ釋キ主ハ瞽者ノ目ヲ開キ主ハ屈メラレシ者

ヲ起シ主ハ義人ヲ愛シ主ハ窮客ヲ護リ孤子ト寡婦ヲ佑ケ
惟不虔者ノ途ヲ覆ヘス主ハ永遠ニ王トナランシオンヤ爾
ノ神ハ世々ニ王トナラン
今モ何時モ世々ニアミン
神ノ獨生ノ子并ニ言ヤ死セザル者ニシテ我等ヲ救ハンガ
爲メ甘シテ聖ナル生神女永貞童女マリヤヨリ身ヲ取り
神ノ性ヲ易ヘズシテ人トナリ十字架ニ釘ウタレ死ヲ以テ
死ヲ踏破リシハリストス神ヤ聖三者ノ一トシテ父ト聖神
ト共ニ讃榮セラル、ノ主ヤ我等ヲ救ヒ給ヘ
大四旬齋ニハ右ノ聖詠祝文ヲ誦セズシテ第九時課ノ主宰

イイススハリストス我等ノ神云々ノ祝文ノ後直ニ左ノ主
 ヤ爾ノ國ニ來ラン時云々ノ歌ヒ以下心ノ貧キ者ハ福ナリ
 云々ノ毎句ノ後復之ヲ歌フ第八ノ調ニ依ル
 主ヤ爾ノ國ニ來ランキ我等ヲ記憶ヒ給ヘ
 心ノ貧キ者ハ福ナリ天國ハ彼等ノモノナレバナリ
 泣ク者ハ福ナリ彼等ハ慰ヲ得ントスレバナリ
 溫柔ナル者ハ福ナリ彼等ハ地ヲ嗣ガントスレバナリ
 義ニ饑エ渴クモノハ福ナリ彼等ハ飽クヲ得ントスレバナ
 リ
 矜恤アル者ハ福ナリ彼等ハ矜恤ヲ得ントスレバナリ

心ノ清キモノハ福ナリ彼等ハ神ヲ見ントスレバナリ
 和平ヲ行フ者ハ福ナリ彼等ハ神ノ子ト名ケラレントスレ
 バナリ
 義ノ爲ニ窘逐セラレ、者ハ福ナリ天國ハ彼等ノモノナレ
 バナリ
 人我が爲ニ汝等ヲ訴リ汝等ヲ窘逐シ汝等ノ事ヲ語リテ諸
 ノ惡キ言ヲ謂ンキ汝等福ナリ
 喜ビ樂メヨ天ニハ汝等ノ報賞多ケレバナリ
 大團圓齋ニハ左右ノ兩詠隊聲ヲ合セテ左ノ主ヤ爾ノ國
 云々主宰ヤ云々聖ナル者ヤ云々ノ三句ヲ朗唱ス一句毎

叩拜一次

大四旬齋ニ非レバ之ヲ疾唱ス

光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス今モ何時モ世々ニ「アミン」

主ヤ爾ノ國ニ來ラシキ我等ヲ記憶ヒ給ヘ

主宰ヤ爾ノ國ニ來ランキ我等ヲ記憶ヒ給ヘ

聖ナル者ヤ爾ノ國ニ來ラントキ我等ヲ記憶ヒ給ヘ

天軍爾ヲ歌フテ曰フ聖々々ナル哉主サワオフ爾ノ光榮ハ

天地ニ徧シ

句目ヲ擧ゲテ彼ヲ仰グ者ハ照サレタリ彼等ノ面ハ愧ヲ受

ケザラン

天軍爾ヲ歌フテ曰フ聖々々ナル哉主サワオフ爾ノ光榮ハ

天地ニ徧シ

光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス

聖神使ト神使首ノ群ハ衆天軍ト共ニ爾ヲ歌フテ曰フ聖々

々ナル哉主サワオフ爾ノ光榮ハ天地ニ徧シ

今モ何時モ世々ニ「アミン」

我信ズ一ノ神父全能者天ト地見ユルト見エザル萬物ヲ造

リシ主ヲ又信ズ一ノ主イエススハリストス神ノ獨生ノ子

萬世ノ前ニ父ヨリ生レ光ヨリノ光眞ノ神ヨリノ眞ノ神生

レシ者ニテ造ラレシニ非ズ父ト一躰ニシテ萬物彼ニ造ラ

レ我等人々ノ爲又我等ノ救ヒノ爲ニ天ヨリ降り聖神及ビ
 童貞女マリヤヨリ身ヲ取り人ト爲り我等ノ爲ニポンテイ
 ビラトノ時十字架ニ釘ウタレ苦ヲ受ケ葬ラレ第三日ニ聖
 書ニ應フテ復活シ天ニ升リ父ノ右ニ坐シ光榮ヲ顯ハシテ
 生ケル者ト死セシ者ヲ審判スル爲ニ還タ來リ其國終リナ
 カランヲ
 又信ズ聖神主生ヲ施ス者父ヨリ出デ父及ビ子ト共ニ拜マ
 レ讃メラレ預言者ヲ以テ嘗テ言ヒシヲ又信ズ一ノ聖ナル
 公ナル使徒ノ教會ヲ我認ム一ノ洗禮以テ罪ノ赦ヲ得ルヲ
 我望ム死者ノ復活並ニ來世ノ生命ヲ「アミン」

司祭
 讀經

神ヤ我が自由ト自由ト言ト行ト知ルト知ラザル
 ト書ニ夜ニ思ト心ニテ犯カセシ諸ノ罪ヲ宥メ之ヲ釋キ之
 ナ赦ルセ仁慈ニシテ人ヲ愛スルノ主ヤ皆我等ニ赦シ給ヘ
 天ニ在ス我等ノ父ヤ願ハ爾ノ名ハ聖トセラレ爾ノ國ハ來
 リ爾ノ旨ハ天ニ行ハル、ガ如ク地ニモ行ハレン我が日用
 ノ糧ヲ今日我等ニ與ヘ給ヘ我等ニ債アル者ヲ我等免スガ
 如ク我等ノ債ヲ免シ給ヘ我等ヲ誘ニ導カズ猶我等ヲ凶惡
 ヨリ救ヒ給ヘ
 蓋國ト權能ト光榮ハ爾ニ世々ニ歸ス
 「アミン」

若主宰ノ祭日ニ値レバ是ノ祭日ノ小讃詞ヲ誦ス是ノ祭日
 若聖人ノ祭日ニ逢ハ先ツ聖人ノ小讃詞ヲ誦シ後光榮云
 々今モ云々主ノ小讃詞ヲ誦ス若アリルイヤチ歌フ時或ハ
 主宰ノ祭日モ聖人ノ祭日モナキ時ハ先ツ主ノ顯榮ノ小讃
 詞ヲ誦シ後本日及ビ本堂ノ小讃詞ヲ誦ス若主ノ名ニ依ル
 ノ聖堂ナレバ先ツ聖堂ノ小讃詞ヲ誦シ後本日及ビ常聖人
 ノ小讃詞ヲ誦ス可シ
 光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス
 ハリストスヤ爾ガ僕婢ノ靈ヲ諸聖人ト偕ニ疾モ悲モ歎モ
 ナク唯終リナキ生命ノアル處ニ安ンゼシメ給ヘ

今モ何時モ世々「アミン」

「ハリストスアニン等ノ扉ヲ得ザル云々百五十三葉」

或ハ生神女ノ本堂ノ小讃詞ヲ誦ス

月曜日ニハ神使ノ小讃詞火曜日ニハ前驅ノ小讃詞其他規
 定ノ如シ

主ノ顯榮ノ小讃詞

ハリストス神ヤ爾山上ニ容ヲ變ゼシニ爾ノ門徒ハ己ノ度
 ニ從テ爾ノ光榮ヲ觀タリ是レ後ニ爾ガ十字架ニ釘ウタル
 、ヲ觀テ其苦ノ自由ニヨルヲ悟リ且ツ爾ガ實ニ父ノ光ナ
 ルヲ世ニ傳ヘンガ爲ナリ

月曜日ニハ神使ノ小讚詞 第二ノ調

聖ナル天軍首神ノ光榮ノ役者諸神使ノ首人々ノ教導者ヤ我等ニ益アルト大ナル憐ヲ願ヒ給ヘ爾等ハ無形ノ軍ノ首ナレバナリ

火曜日ニハ前驅ノ小讚詞 第二ノ調

神ノ預言者恩寵ノ前驅ヤ我等爾ノ首ヲ聖セラレシ花ノ如ク地ヨリ獲テ恒ニ愈ルヲ得蓋爾ハ今モ古ノ如ク世ニ悔改ヲ傳フレバナリ

水金兩曜日ニハ十字架ノ小讚詞 第四ノ調

甘ンシテ十字架ニ擧ゲラレシハリストス神ヤ爾ガ同名ノ

新ナル住所ニ爾ノ恵ヲ垂レ給ヘ爾ノ力ヲ以テ吾ガ皇帝某ヲ樂マセ其諸敵ニ勝タシメ給ヘ彼ハ爾ガ和平ノ武器勝タレヌ勝ヲ以テ其助ケトスレバナリ

木曜日ニハ聖使徒ノ小讚詞 第二ノ調

主ヤ爾ハ堅固ニシテ神ニ照サレシ傳道師爾ガ門徒ノ上ナル者ヲ爾ノ福樂ト平安ノ處ニ入レ給ヘリ獨人ノ心ヲ知ルノ主ヤ爾ハ彼等ノ苦ト死ヲ極テ盛ナル献物ニ愈リテ受ケ給ヘバナリ

同日ニハ聖ニコライノ小讚詞 第三ノ調

聖ナル者ヤ爾ハミル城ニ顯レテ聖ナル務ヲ行ヘリ克肖者

ヤ爾ハハリストスノ福音ニ遵フテ爾ガ靈ヲ爾ノ人々ノ爲ニ捐テ罪ナキ者ヲ死ヨリ救ヒ給ヘリ故ニ聖セラレテ神ノ恩寵ノ大ナル器トナレリ

「スボタ」ニ之ヲ誦スルコトアルニ則チ左ノ如シ
光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス

ハリストスヤ爾ガ僕婢ノ靈ヲ云々百四十八葉ヲ見
今モ何時モ世々「アミン」

致命者ノ小讃詞 第八ノ調

主ヤ全世界ハ捧神ナル致命者ヲ萬物ノ初實トシテ爾萬物ヲ植附ケシ者ニ奉ル大仁慈ナル者ヤ彼等ト生神女ノ祈禱

ニ依テ爾ノ住所ナル爾ノ教會ヲ深キ平安ニ守リ給ヘ
左ノ小讃詞ハ「スボタ」ノ外毎日之ヲ誦ス

「ハリステアニン」等ノ辱ヲ得ザル轉達造物主ノ前ニ變ラザル中保ヤ罪ナル者ノ禱ノ聲ヲ輕ンズル勿レ仁慈ナルニ依テ速ニ我等ヲ助ケ給ヘ蓋我等切ニ爾ニ呼ブ生神女ヤ爾ヲ尊ム者ニ常ニ代テ急テ禱リ切ニ願ヒ給ヘ

大四旬齋ニハ左ノ如シ

主憐メヨ 四十次

光榮云々 今モ云々

ヘルライムヨリ尊ク云々

司祭

讀經

神父ヤ主ノ名ヲ以テ福ヲ降セ
神ヤ我等ニ恩ヲ被ラシ云々
聖エフレムノ祝文及ビ規定ノ叩拜
畢テ後司祭曉課ヲ始ム
來レ我等ノ王神ニ叩拜セン云々

第三百三聖詠

我が靈ヤ主ヲ讚揚ゲヨ云々
大四旬齋ニ非ザレバ小讚詞ノ後誦スルヲ左ノ如シ
主憐メヨ十二次

祝文

至聖ナル三者一性ノ權柄分レザル國萬善ノ源ヤ我罪人ノ
爲ニ慮リ我が心ヲ固メ悟ラシテ我が諸ノ汚ヲ除キ給ヘ我
ガ智識ヲ照シ我ニ常ニ讚榮讚頌叩拜シテ誦ヘサセ給ヘ聖
ナルハ一主ナルハ一神父ノ光榮ヲ顯ハスノイイススハリ
ストスナリ「アミン」

願ハ主ノ名ハ崇讚メラレ今ヨリ世々ニ至ラン三次

光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス今モ何時モ世々ニ「アミン」

第卅三聖詠

我何ノ時ニモ主ヲ讚揚ゲン彼ヲ讚ルハ恒ニ我が口ニ在リ
我が靈ハ主ヲ以テ誇ラン溫柔ナル者ハ聞テ樂マントス我

ト借ニ主ヲ尊メヨ借ニ彼ノ名ヲ崇讃メン我曹テ主ヲ尋テ
 シニ彼ハ我ニ聆納レテ我ガ都テノ危キヨリ我ヲ免レシメ
 給ヘリ目ヲ舉ゲテ彼ヲ仰グ者ハ照サレタリ彼等ノ面ハ愧
 ナ受ケザラン此ノ貧キ者籲ビシニ主ハ聆納レテ之ヲ其悉
 ノ艱難ヨリ救ヘリ主ノ使ハ主ヲ畏ル、者ヲ環衛リテ彼等
 ナ援ク味ヘヨ主ノ如何ニ仁慈ナルヲ見シ彼ヲ恃ム人ハ福
 ナリ凡ソ主ノ聖人ヤ主ヲ畏レヨ蓋彼ヲ畏ル、者ハ乏キニ
 トナシ少キ獅ハ乏クシテ餓エ唯主ヲ尋ル者ハ何ノ幸福ニ
 モ飲ルナシ小子ヤ來テ我ニ聽ケヨ主ヲ畏ル、ノ畏レテ爾
 等ニ訓ヘン人生クルヲ望ミ又長命ヘテ幸福ヲ見ンコトヲ欲

スルカ爾ノ舌ヲ惡ヨリ爾ノ口ヲ譎ノ言ヨリ止メヨ惡ヲ避
 ケテ善ヲ行ヒ和平ヲ尋テ之ニ從ヘヨ主ノ目ハ義人ヲ顧ミ
 其耳ハ彼等ノ籲ヲ聆ク唯主ノ面ハ惡ヲ爲ス者ニ對ヒ其名
 ナ地ヨリ亡サントス義人ハ籲ブニ主ハ之ヲ聽キ彼等ヲ悉
 ノ憂ヨリ免カレシム主ハ心ノ傷メル者ニ近シ靈ノ謙マル
 者ヲ救ハントス義人ニハ憂多シ然レモ主ハ之ヲ悉ク免シ
 メン主ハ彼ガ悉ノ骨ヲ護リ其一モ折レザラン惡ハ罪人ヲ
 殺シ義人ヲ憎ム者ハ亡ビン主ハ其僕ノ靈ヲ救ヒ彼ヲ頼ム
 者ハ一人モ亡ビザラン
 常ニ福ニシテ全ク玷ナキ生神女吾ガ神ノ母ナル爾ヲ福ナ

リト稱フルハ眞ニ當レリヘルリムヨリ尊クセラフムニ並
 ビナク榮エ貞操ヲ壞ラズシテ神言ヲ生ミシ實ノ生神女
 ル爾ヲ崇讚ム
 光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス今モ何時モ世々ニ「アミン」
 主憐メヨ 三次
 福ヲ降セ
 司祭發放詞ヲ誦ス

第九時課

司祭降福ノ後讀經者誦シテ曰ク

讀經

「アミン」

光榮ハ爾我等ノ神ニ歸ス光榮ハ爾ニ歸ス

天ノ王慰ル者ヤ云々

聖三祝文 至聖三者 主經

蓋國ト權能云々

讀經

「アミン」

主憐メヨ 十二次

光榮云々今モ云々

來レ我等ノ王神ニ叩拜セン云々

第八十三聖詠

萬軍ノ主ヤ爾ノ住所ハ何ゾ其レ愛スベキヤ我ガ靈ハ厚ク
 慕テ主ノ庭ヲ望ミ我ガ心ト我ガ身ハ生活ノ神ニ馳ス萬軍
 ノ主吾ガ王吾ガ神ヤ雀モ己ノ宿ヲ獲燕モ己ノ巢ヲ獲テ難
 ナ爾ガ祭壇ノ傍ニ置ク爾ノ家ニ住ム者ハ福ナリ彼等ハ常
 ニ爾ヲ讚揚ントスカナ爾ニ恃ミ心ノ路ヲ爾ニ向ル人ハ福
 ナリ彼等ハ涙ノ谷ヲ通りテ其中ニ泉ヲ得雨ハ降福ニテ之
 ナ覆フカヨリ力ニ進ミシオンニ於テ神ノ前ニ顯ル主萬軍

ノ神ヤ我ガ禱ヲ聽ケヨイヤコフノ神ヤ聆納レ給ヘ神我ヲ
 衛ル主ヤ俯テ爾ガ膏傳ケラレシ者ノ面ヲ視ヨ蓋一日爾ノ
 庭ニ在ルハ千日ニ勝レリ我惡者ノ幕ニ住マンヨリハ寧神
 ノ家ノ闕ノ側ニ居ラン蓋主神ハ日ナリ盾ナリ主ハ恩籠ト
 光榮ヲ賜ヒ行ノ玷ナキ者ヨリ幸福ヲ奪ハズ萬軍ノ主ヤ爾
 ナ恃ム人ハ福ナリ

第八十四聖詠

主ヤ爾ハ己ニ憐ヲ爾ノ地ニ施シイヤコフノ俘ヲ歸セリ爾
 ノ民ノ不法ヲ赦シ其總ノ罪ヲ掩ヒ爾ガ悉ノ忿ヲ罷メ爾ガ
 怒ノ烈キヲ除キ給ヘリ我ガ救ノ神ヤ我等ヲ起シ爾ガ我等

於ルノ憤ヲ釋キ給ヘ豈ニ永ク我等ヲ忿リ爾ノ怒ヲ世々
 伸ベントスルヤ豈ニ新ニ我等ヲ活シテ爾ノ民ニ爾ノ事
 ヲ悦バサシラントスルヤ主ヤ爾ノ憐ヲ我等ニ顯シ爾ノ救
 ヒヲ我等ニ施シ給ヘ我ハ主神ノ言ハントスル所ヲ聽カン
 彼ハ平安ヲ其民ト其選ビシ者ニ謂ハントス唯願ハ彼等ハ
 再無智ニ陥ラザラン此ノ如ク彼ノ救ヒハ彼ヲ長ル、者ニ
 邇シ光榮ノ我ガ地ニ居ルヲ致ス慈憐ト眞實ト相交リ義ト
 和平ト相接吻セン眞實ハ地ヨリ出テ義ハ天ヨリ臨マン主
 ハ幸福ヲ與ヘ我ガ地ハ其果ヲ與ヘン義ハ彼ノ前ニ行キ其
 足ヲ路ニ立テントス

第八十五聖詠

主ヤ爾ノ耳ヲ傾ケテ我ニ聽ケヨ我乏クシテ貧ケレバナリ
 我が靈ヲ護レヨ我爾ノ前ニ慎メバナリ吾ガ神ヤ爾ヲ恃メ
 ル爾ノ僕ヲ救ヒ給ヘ主ヤ我ヲ憐メヨ我日々ニ爾ニ籲ベバ
 ナリ爾ノ僕ノ靈ヲ樂マシメヨ主ヤ我ガ靈ヲ爾ニ舉レバナ
 リ蓋主ヤ爾ハ仁慈ト慈憐ニシテ凡ソ爾ヲ籲ブ者ニ洪恩ナ
 リ主ヤ我ガ禱ヲ聽キ我ガ願ノ聲ヲ聆納レ給ヘ我ガ憂ノ日
 爾ニ籲ブ蓋爾ハ我ニ聆カントス主ヤ諸ノ神ノ中爾ニ如ク
 者ナク爾ノ作爲ニ如クハナシ主ヤ爾ニ造ラレシ萬民ハ來
 テ爾ノ前ニ伏拜シ爾ノ名ヲ讚榮セン蓋爾ハ大ニシテ奇蹟

ナ行フ爾神ヤ爾獨ナリ主ヤ我ヲ爾ノ路ニ導ケヨ然セバ我
 爾ノ眞理ニ行カン我ガ心ヲ爾ノ名ヲ畏ル、ノ畏レニ固メ
 給ヘ主吾ガ神ヤ我心ヲ傾ケテ爾ヲ讚美シ永ク爾ノ名ヲ讚
 榮セン蓋我ニ於ル爾ノ憐ハ大ナリ爾ハ我が靈ヲ甚ト深キ
 地獄ヨリ援ケ給ヘリ神ヤ誇ル者ハ起テ我ヲ攻メ暴虐者ノ
 黨ハ我が靈ヲ尋ヌ彼等ハ爾ヲ己ノ前ニ置カズ然レモ爾主
 宏慈ニシテ矜恤寛忍ニシテ洪恩眞實ナル神ヤ我ヲ顧ミ我
 ヲ憐ミ爾ノ力ヲ爾ノ僕ニ賜ヒ爾ノ婢ノ子ヲ救ヒ給ヘ恩ノ
 徴ヲ我ニ顯シ給ヘ我ヲ疾ム者ハ之ヲ見テ爲ニ愧ヲ得ン爾
 主ヤ我ヲ助ケ我ヲ慰メ給ヘバナリ

又恩ノ徴ヲ我ニ顯シ給ヘ我ヲ疾ム者ハ之ヲ見テ爲ニ愧ヲ
 得ン爾主ヤ我ヲ助ケ我ヲ慰メ給ヘバナリ

光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス今モ何時モ世々ニ「アミン」

「アリルイヤ」アリルイヤ「アリルイヤ」神ヤ光榮ハ爾ニ歸ス

三次

主憐メヨ 三次

羞主ハ神ナリ我等ヲ照セリ云々「ナ歌フ時ハ誦スル」左ノ

如シ

光榮云々 本日讚詞

今モ云々 我等ノ爲ニ童貞女ヨリ生レ云々

若アリルイヤアル時ハ第八ノ調ニ依テ左ノ讚詞ヲ歌フ
 第九時ニ我等ノ爲ニ身ニテ死ヲ嘗メシハリストス神ヤ我
 ガ肉躰ノ念ヲ殺シテ我等ヲ救ヒ給ヘ
 第一句主ヤ願ハ我ガ籲聲ハ爾ガ顔ノ前ニ過カン爾ノ言ニ
 依テ我ヲ悟ラセ給ヘ
 第二句願ハ我ガ禱ハ爾ガ顔ノ前ニ至ラン爾ノ言ニ依テ我
 ヲ救ヒ給ヘ
 光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス今モ何時モ世々ニ「アミン」
 生神女讚詞
 我等ノ爲ニ童貞女ヨリ生レ十字架ニ釘ウタル、ヲ忍ビ神

ナルニ依テ死ニテ死ヲ亡シ復活ヲ顯セシ仁慈ノ主ヤ爾ノ
 手ニテ造リシ者ヲ輕ズル勿レ慈憐ノ主ヤ爾ガ人ヲ愛スル
 ノ愛ヲ顯ハシ我等ノ爲ニ祈禱スル所ノ爾ヲ生ミン生神女
 ヲ受ケ給ヘ我ガ救主ヤ望ヲ失ヘル者ヲ救ヒ給ヘ
 爾ノ名ニ因テ我等ヲ終マテ棄ル勿レ爾ノ盟約ヲ破ル勿レ
 爾ノ憐ヲ我等ヨリ除ク勿レ爾ガ愛スル所ノテウラナムト
 爾ノ僕イザアクト爾ノ聖ナルイブライリトニ因テナリ
 聖三祝文 至聖三者 主經
 祭日ニハ本祭日ノ小讚詞ヲ誦スベシ若祭日ニ非レハ第八
 ノ調ニ依テ左ノ小讚詞ヲ誦ス

盜賊ハ生命ノ首ガ十字架ニ懸ルヲ見テ日ヘリ我等ト共ニ
 釘ウタレシ者ハ若身ヲ取リシ神ニ非ザレバ日ハ其光線ヲ
 隠サズ地モ戰ヒ慄カザラン萬ノ事ヲ忍ブノ主ヤ爾ノ國ニ
 於テ我ヲ憶ヒ給ヘ
 光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス
 爾ノ十字架ハ二人ノ盜賊ノ間ニ在テ義ノ權衡トナレリ蓋
 一人ハ謗ノ重キヲ以テ地獄ニ降サレ一人ハ罪ヲ釋カレ輕
 ク昇サレテハリストス神ヤ光榮ハ爾ニ歸スト讚揚スルヲ
 悟レリ
 今モ何時モ世々ニ「アミン」

爾ヲ生ミシ者ハ爾羔ニシテ牧者タル世界ノ救主ガ十字架
 ニ在ルヲ見テ泣テ日ヘリ吾子吾神ヤ世界ハ救ヲ獲テ喜ビ
 我ハ爾ガ衆人ノ爲ニ忍ンテ釘ウタル、ヲ見テ心ヲ灼ケリ
 主憐メヨ四十次
 何ノ日何ノ時天ニモ地ニモ叩拜讚榮セラレ寬忍鴻慈至善
 ニシテ義人ヲ愛シ罪人ヲ憐ミ來世ノ福ヲ約ンテ萬ノ者ヲ
 救ニ招クハリストス神ヤ爾主ヤ親ヲ我が此ノ時ノ禱シモ
 受ケ我等ノ生命ヲ爾ノ誠ニ向ハシメ給ヘ我等ノ靈ヲ聖ニ
 シ休ヲ潔クシ慮ヲ直クシ思ヲ淨クシ我等ヲ悉ノ憂ト禍ト
 疾ヨリ救ヒ爾ノ聖ナル神使ヲ以テ我等ヲ環リ我等ガ其圍

ニ衛リ導カレテ信ノ一ナルト爾ノ近ヅキ難キ光榮ヲ悟ル
ニ至ラセ給ヘ蓋爾ハ世々ニ崇讚メラル「アミン」
主憐メヨ三次

光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス今モ何時モ世々ニ「アミン」

ヘルワイムヨリ尊クセラフムニ並ビナク榮エ貞操ヲ壞ラズ

シテ神言ヲ生ミシ實ノ生神女タル爾ヲ崇讚ム

神父ヤ主ノ名ヲ以テ福ヲ降セ

神ヤ我等ニ恩ヲ被ラシ我等ニ福ヲ降シ爾ガ顔ヲ以テ我等

ヲ照シ並ニ我等ヲ憐ミ給ヘ

大四旬齋ニハ聖エノレムノ祝文ヲ誦シ三次叩拜ス嗣テ左

高司
聲祭

ノ「主宰イイススハリストス吾ガ神ヤ云々」ノ祝文ヲ誦シ然
ル後主ヤ爾ノ國ニ來ラン時云々」ヲ歌フ其他聖體禮儀代式
ニ記スガ如シ

齋時ニ非ザレバ司祭高聲ノ後左ノ祝文ヲ誦ス

聖大ワシリイノ祝文

請經

主宰イイススハリストス吾ガ神ヤ我等ノ罪ヲ寬忍シテ我
等ヲ今ノ時ニ至ラセ給ヒシ主ヤ昔此ノ時ニ生命ヲ施スノ
木ニ懸リテ善智ナル盜賊ノ爲ニ天堂ノ道ヲ啓キ死ヲ以テ
死ヲ亡シ給ヒシ主ヤ我等罪ナル爾ノ當ラザル僕ヲ淨メ給
ヘ我等ハ罪ヲ犯シ不法ヲ行ヒ目ヲ擧ゲテ天ノ高キヲ見ル

ニ堪ヘザレバナリ蓋爾ノ義ノ道ヲ離レ私慾ヲ恣ニシテ日
 ナ送レリ主ヤ爾ノ量リ難ギ仁慈ニ祈ル爾ガ多クノ憐ニ因
 テ我等ヲ宥メ爾ノ聖ナル名ニ因テ我等ヲ救ヒ給ヘ我が日
 ハ虚ク消ユレバナリ我等ヲ敵ノ手ヨリ援ケ給ヘ我等ガ諸
 ノ罪ヲ赦シ給ヘ我等ガ肉体ノ念ヲ殺シ給ヘ願ハ我等ハ舊
 キ人ヲ脱ギ新キ人ヲ衣爾我等ノ主宰ト恩者ノ爲ニ生キン
 此ノ如ク爾ノ誠ニ遵フテ盡ノ樂ム者ノ住所ナル永遠ノ安
 樂ニ至ラン蓋ハリストス吾ガ神ヤ爾ハ實ニ爾ヲ愛スル者
 ノ眞ノ樂ト喜ナリ我等爾ト爾ノ無原ノ父ト至聖至仁生命
 ナ施ス爾ノ神トニ光榮ヲ歸ス今モ何時モ世々ニ「アミン」

光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス今モ何時モ世々ニ「アミン」
 主憐メヨ 三次
 福ヲ降セ
 司祭發放詞ヲ誦ス

晚課

司祭

讀經

我等ノ神ハ崇讃ラル今モ何時モ世々ニ

「アミン」

來レ我等ノ王神ニ叩拜セン

來レハリストス我等ノ王神ニ叩拜俯伏セン

來レハリストス我等ノ王ト神ノ前ニ叩拜俯伏セン

第一百三聖詠

我が靈ヤ主ヲ讚揚ゲヨ主吾ガ神ヤ爾ハ至テ大ナリ爾ハ光榮ト威嚴トヲ被レリ爾ハ光ヲ衣ル袍ノ如ク天ヲ張ル

慢ノ如シ水ノ上ニ爾ノ宮ヲ建テ雲ヲ爾ノ車トナシ風ノ翼
 ニテ行ク爾ハ使者ヲ以テ風トナシ役者ヲ以テ焰トナス爾
 ハ地ヲ固キ基ニ建テリ彼ハ世々ニ動カザラン爾淵ニテ之
 ヲ覆ヘルヲ衣服ノ如シ山ノ巔ニ水立ツ爾ノ恐嚇ニ依テ彼
 ハ奔リ爾ノ雷ノ聲ニ由テ速ニ去ル山ニ升リ淵ニ降り爾ガ
 彼ノ爲ニ定メシ處ニ至ル爾界ヲ立テ、之ヲ踰エザラシム
 反テ地ヲ覆ハザラン爾ハ泉ヲ淵ニ遣リ山ノ間ニ水ハ流レ
 野ノ諸ノ獸ニ飲マシメ野ノ驢ハ其渴ヲ止ム空ノ鳥ハ其傍
 ニ棲ミ枝ノ間ヨリ聲ヲ發ス爾ハ最ト高キヨリ山ヲ潤シ地
 ハ爾ノ造ル果ニテ履足レリ爾ハ草ヲ獸ノ爲ニ生シ野菜ヲ

人ノ需ニ生ゼシメテ地ヨリ食物ヲ出サシム酒ハ人ノ心ヲ
 樂マシ膏ハ其面ヲ澤シ餅ハ人ノ心ヲ養フ主ノ樹其植附ケ
 シリロンノ柏香太ハ履足レリ鳥ハ其上ニ巢ヲ造ル松ハ鶴
 ノ棲處タリ高キ山ハ鹿ノ爲メ磐石ハ兎ノ爲ニ避所タリ主
 ハ月ヲ造リテ時ヲ定メ日ハ其入ルヲ知ル爾暗ヲ布ケバ則
 夜アリ彼ノ時林ノ獸悉ク出テ廻ル獅ハ獲物ノ爲ニ吼テ其
 食物ヲ神ニ乞フ日出レハ彼等集リテ己ノ穴ニ隱伏ス人ハ
 其務ノ爲ニ出テ働キテ暮ニ至ル主ヤ爾ノ工業ハ何ゾ多キ
 ヤ皆智慧ヲ以テ作レリ地ハ爾ノ造物ニテ満サレタリ夫ノ
 大ニシテ廣キ海彼處ニハ無數ノ動物大小ノ生物アリ彼處

ニハ舟通ヒ彼處ニハ彼ノ大魚アリ爾造リテ其中ニ游バシ
ム彼等ハ皆爾ヨリ時ニ隨テ食物ヲ于フルヲ待ツ彼等ニ于
フレバ受ケ爾ノ手ヲ開ケバ賜ニ屢カサレ爾ノ顔ヲ隠クセ
六懼レ彼等ノ氣ヲ取上グレバ死シテ塵ニ歸ル爾ノ氣ヲ施
セバ造ラレ爾ハ又地ノ面ヲ新ニス願ハ光榮ハ世々ニ主ニ
在ラン願ハ主ハ己ノ造リシ者ノ爲ニ樂マン彼地ヲ觀レバ
地震ヒ山ニ觸レバ煙立ツ我生ケル中主ニ歌ヒ世ヲ終ルマ
テ吾ガ神ニ歌ハン願ハ我ガ歌ハ彼ニ悅バレン我主ノ爲ニ
樂マン願ハ罪人等ハ地ヨリ消エ不法ノ者ハ存スルナケン
我ガ靈ヤ主ヲ讚揚ゲヨ

日ハ其入ヲ知ル爾暗ヲ布ケバ則夜アリ主ヤ爾ノ工業ハ何
ゾ多キヤ皆智慧ヲ以テ作レリ

光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス今モ何時モ世々ニ「アミシ」

「アリルイヤ」アリルイヤ「アリルイヤ」神ヤ光榮ハ爾ニ歸ス

三次

大聯禱

聖詠經

小聯禱

嗣テ本回ノ調ニ依テ主ヤ爾ニ呼ブ云々「ヲ歌フ」左ノ如シ

第四百十聖詠

主ヤ爾ニ籲ブ速ニ我ニ格子給ヘ

主ヤ我ニ聽キ給ヘ

主ヤ爾ニ籲ブ速ニ我ニ格リ給ヘ爾ニ籲ブ時我ガ禱ノ聲ヲ
納レ給ヘ
主ヤ我ニ聽キ給ヘ

左列ノ詠隊

願ハ我ガ禱ハ香爐ノ香ノ如ク爾ガ顔ノ前ニ登リ我ガ手ヲ
舉ルハ暮ノ祭ノ如ク納レラレン
主ヤ我ニ聽キ給ヘ

嗣テ以下ノ句ヲ誦ス

主ヤ我ガ口ニ衛ヲ置キ我ガ唇ノ門ヲ扞ギ給ヘ
我ガ心ニ邪ナル言ニ傾キテ不法ヲ行フ人ト共ニ罪ノ推諉

セシムル勿レ願ハ我ハ彼等ノ甘ヲ嘗メザラン

願ハ義人ハ我ヲ罰セン是レ矜恤ナリ願ハ我ヲ譴メン是レ

極ト美キ油我ガ首ヲ腦ス能ハザル者ナリ

唯我ガ禱ハ彼等ノ惡事ニ敵ス彼等ノ首長ハ巖石ノ間ニ散

シ我ガ言ヲ聽テ柔和トス

我等ヲ土ノ如ク斫リ碎キ我ガ骨ハ地獄ノ口ニ散テ落ツ

主ヤ主ヤ唯我ガ目ハ爾ヲ仰ギ我爾ヲ恃ム我ガ靈ヲ退クル

勿レ

我ガ爲ニ設ケシ跡不法者ノ羅ヨリ我ヲ護リ給ヘ
不虔者ハ己ノ網ニ罹リ唯我ハ過ルヲ得ン

第四百一十一聖詠

我ガ聲ヲ以テ主ニ籲ビ我ガ聲ヲ以テ主ニ禱リ
 我ガ禱ヲ其前ニ注ギ我ガ憂ヲ其前ニ顯ハセリ
 我ガ靈我ノ衷ニ弱ル時爾ハ我ノ途ヲ知レリ
 我ガ行ク路ニ於テ彼等ハ竊ニ我ガ爲ニ網ヲ張レリ
 我右ニ目ヲ注グニ一人モ我ヲ認ムル者ナシ
 我ニ遁ル、所ナク人ノ我ガ靈ヲ顧ルナシ
 主ヤ我爾ニ籲ンテ云ヘリ爾ハ我ノ避所ナリ生ケル者ノ地
 ニ於テ我ノ分ナリ
 我ガ籲ヲ聽キ給ヘ我甚ダ弱リタレバナリ我ヲ攻ル者ヨリ

救ヒ給ヘ彼等ハ我ヨリ強ケレバナリ

左ノ十句ハ十讚頌ノ時ニ併セ誦ス

我ガ靈ヲ獄ヨリ曳出シテ我ニ爾ノ名ヲ讚揚セシメ給ヘ
 爾恩ヲ我ニ賜フ時義人ハ我ヲ環ラントス

第四百廿九聖詠

左ノ八句ハ八讚頌ノ時ニ併セ誦ス

主ヤ我深キ處ヨリ爾ニ籲ブ主ヤ我ガ聲ヲ聽キ給ヘ
 願ハ爾ノ耳ハ我ガ禱ノ聲ヲ聽納レン
 左ハ六讚頌ノ時
 主ヤ爾若シ不法ヲ糾サバ主ヤ孰カ能ク立タン然レモ爾ニ

救アリ人ニ爾ノ前ニ敬マシム
我主ヲ望ミ我が靈ハ主ヲ望ミ我彼ノ言ヲ恃ム
左ハ四讚頌ノ時

我靈主ヲ待ツ番人ノ且ヲ待チ番人ノ且ヲ待ツヨリ甚シ
願ハイブライリハ主ヲ恃マン蓋憐ハ主ニアリ大ナル贖モ
彼ニアリ彼ハイブライリヲ其悉ノ不法ヨリ贖ハントス

第一百十六聖詠

萬民ヤ主ヲ讚揚ゲヨ萬族ヤ彼ヲ崇讚メヨ
蓋彼ガ我等ニ施ス憐ハ大ナリ主ノ眞實ハ永ク存ス
光榮云々今モ云々
本回ノ調ノ生神女讚詞

イエエルサリムノ總主教聖ソノロニイノ祝文

聖ニシテ福タル常生ナル天ノ父ノ聖ナル光榮ノ穩カナル
光イイススハリストスヤ我等日ノ入ニ至リ晚ノ光ヲ見テ
神父ト子ト聖神ヲ歌フ生命ヲ賜フ神ノ子ヤ爾ハ何時モ敬
虔ノ聲ニテ歌ハルベシ故ニ世界ハ爾ヲ崇讚ム
六四旬齋或ハアリルイヤアルルハ七日ノ提綱ノ代リニ歌
フ左ノ如シ

月曜日ノ晚

「アリルイヤ」三六第六ノ調ニ依ル
句主ヤ爾ノ憤ヲ以テ我ヲ責ル勿レ爾ノ怒ヲ以テ我ヲ罰ス

ル勿レ

「アリルイヤ」

句世々ニ

朗聲「アリルイヤ」

火木兩曜日ノ晚

「アリルイヤ」

句主吾ガ神ヲ尊崇メヨ其足我ニ俯拜メヨ是聖ナレバナリ
句世々ニ

水曜日ノ晚

「アリルイヤ」

句其聲ハ全地ニ傳ハリ其言ハ地ノ極ニ至レリ

句世々ニ

主日ト金曜日ノ晚ニハ「アリルイヤ」ヲ歌ハズ

若主ハ神ナリ我等ヲ照セリ云々「ノアル時ニハ提綱ヲ歌フ

「左ノ如シ

主日ノ晚 第八ノ調

主ノ諸僕夜中主ノ堂ニ立ツ者ヤ今主ヲ崇讚メヨ
句爾ノ手ヲ揚ゲ聖所ニ向フテ主ヲ崇讚メヨ

月曜日ノ晚 第四ノ調

我籥ヘバ主ハ之ヲ聽ク

句 吾ガ義ノ神ヤ我ガ籲ブ時我ニ聽キ給ヘ

火曜日ノ晚 第一ノ調

主ヤ願ハ爾ノ仁慈ト慈憐ハ我ガ生命アルノ日我ニ伴ハン
句 主ハ我ノ牧者ナリ我萬事ニ乏シカラザラン彼ハ我ヲ茂
キ草場ニ休ハス

水曜日ノ晚 第五ノ調

神ヤ爾ノ名ヲ以テ我ヲ救ヒ爾ノ力ヲ以テ我ヲ判キ給ヘ
句 神ヤ我ガ禱ヲ聽キ我ガ口ノ言ヲ聆納レ給ヘ

木曜日ノ晚 第六ノ調

我ガ助ハ天地ヲ造リシ主ヨリ來ル

句 我目ヲ舉ゲテ山ヲ望ム我ガ助ハ彼處ヨリ來ラン

金曜日ノ晚 第七ノ調

吾ガ神我ヲ憐ム者ハ我ニ先タン

句 吾ガ神ヤ我ヲ諸敵ヨリ援ケ我ヲ攻ル者ヨリ衛リ給ヘ

「スボタ」ノ晚 第六ノ調

主ハ王タリ彼ハ威嚴ヲ衣タリ

句 主ハ能力ヲ衣又之ヲ帶ニセリ

句 故ニ世界ハ堅固ニシテ動かザラン

句 主ヤ聖徳ハ爾ノ家ニ屬シテ永遠ニ至ラン

徒綱畢テ後誦スルヲ左ノ如シ

主ヤ我等ヲ守リ罪ナクシテ此ノ晚ヲ渡ラセ給ヘ主吾ガ先
 祖ノ神ヤ爾ハ崇讚メラレ爾ノ名ハ世々ニ尊ミ歌ハル「アミ
 ン」
 主ヤ爾ヲ恃ムニ因テ爾ノ憐シ我等ニ垂レ給ヘ主ヤ爾ハ崇
 讚メラル爾ノ誠ヲ我ニ訓ヘ給ヘ主宰ヤ爾ハ崇讚メラル爾
 ノ誠ヲ我ニ悟ラセ給ヘ聖ナル者ヤ爾ハ崇讚メラル爾ノ誠
 ニテ我ヲ照シ給ヘ
 主ヤ爾ノ憐ハ世々ニ在リ爾ノ手ノ造リシ物ヲ輕ズル勿レ
 讚ハ爾ニ歸シ歌ハ爾ニ歸シ光榮ハ爾父子ト聖神ニ歸ス
 今モ何時モ世々ニ「アミン」

補祭

我等ノ晚ノ禱ヲ増シテ主ニ獻ラン云々
 司祭高聲ノ後挿句讚頌ヲ誦ス主宰ノ祭日ニ非レバ左ノ句
 ヲ用フ
 第一句 天ニ居ル者ヤ我目ヲ舉ゲテ爾ヲ望ム夫レ僕ノ目主
 人ノ手ヲ望ミ婢ノ目主婦ノ手ヲ望ムガ如ク我等ノ目ハ主
 吾ガ神ヲ望ミテ其我等ヲ憐ムヲ俟ツ
 第二句 主ヤ我等ヲ憐ミ我等ヲ憐ミ給ヘ蓋我等ハ侮ニ屢足
 リ我等ノ靈ハ驕ル者ノ辱ト誇ル者ノ侮ニ屢足レバナリ
 光榮云々今モ云々 生神女讚詞

聖抱神者シメサンノ祝文

主宰ヤ今爾ノ言ニ循ヒ爾ノ僕ヲ安然トシテ逝カシメ給フ
蓋我ガ目ハ爾ガ萬民ノ前ニ備ヘシ救ヲ見タリ是レ異邦人
ヲ照スノ光ト爾ガイブライリ民ノ榮ナリ

聖三祝文

至聖三者

主經

本祭日或ハ本日聖人或ハ本日ノ讚詞
光榮云々今モ云々
生神女讚詞

司祭發放詞ヲ誦ス

若大團旬齋或ハ他ノ齋期ニ值フテアリルイヤアルトキハ
左ノ讚詞ヲ歌フ第四ノ調ニヨル

生神童貞女ヤ慶ベヨ恩寵ニ滿タサル、マリヤヤ主ハ爾ト

偕ニス爾ハ女ノ中ニテ讚美タリ爾ノ胎ノ果モ讚美タリ爾
ハ我等ノ靈ヲ救フノ主ヲ生メバナリ叩拜一次
光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス

ハリストスノ授洗者ヤ我等衆人ヲ記憶シテ我ガ不法ヨリ
救ハル、ヲ得セシメ給ヘ我等ノ爲ニ祈禱スルノ恩寵ハ爾
ニ賜リタレバナリ叩拜一次

今モ何時モ世々「アミン」
聖使徒ト諸聖人ヤ我等ノ爲ニ祈リテ我等ニ禍ト憂ヨリ救
ハル、ヲ得セシメ給ヘ爾等ハ救世主ノ前ニ吾ガ熱心ノ中
保者タレバナリ叩拜一次